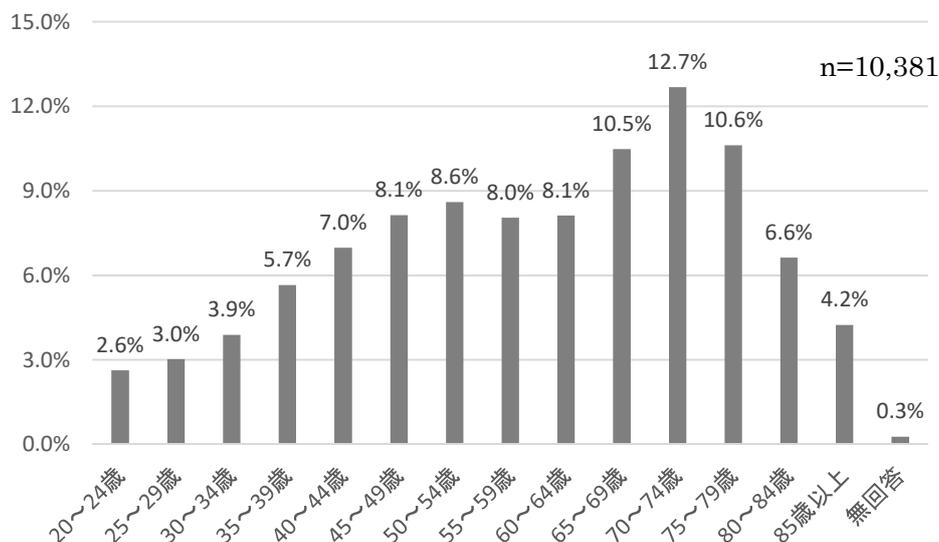


横浜市敬老特別乗車証（敬老パス）制度に関する
市民アンケート調査結果

令和元年 11 月

問1 年齢層をお答えください。(いずれか一つに○)

「70～74歳」が12.7%と最も多く、次いで「75～79歳」が10.6%、「65～69歳」が10.5%となっています。



【参考】年齢5歳階層別回答率

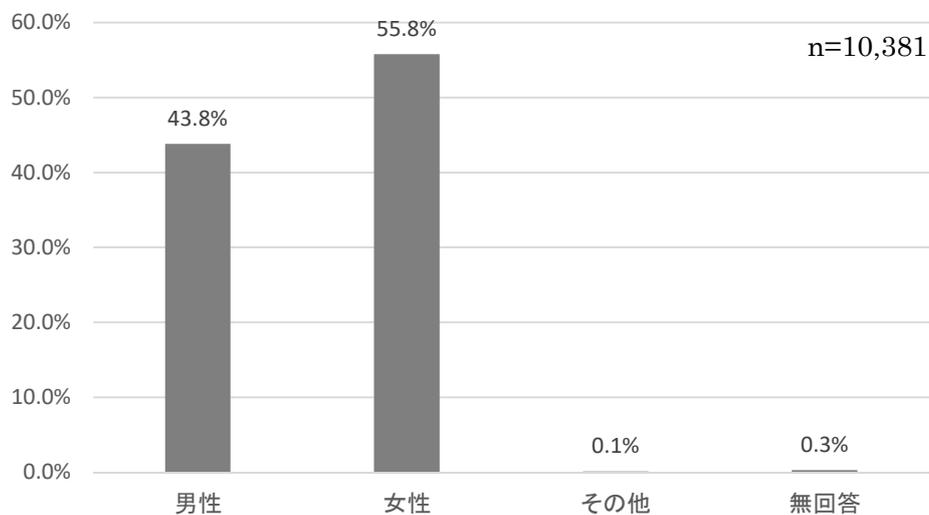
今回のアンケート調査実施に当たり、今回対象の30000人について、横浜市の年齢5歳階層別人口比率に準じた形で比率計算したのが右図の「配布数」になります。

年代5歳階層別の配布数に対しての回答数の割合（「回答率」）については、64歳から84歳の各年代層で5割を超えている一方、年代が若くなるほど回答率が低くなっており、34歳未満の各年代で2割を切っています。

年代	回答数	配布数	回答率
20～24歳	273	1912	14.3%
25～29歳	314	1980	15.9%
30～34歳	404	2111	19.1%
35～39歳	587	2310	25.4%
40～44歳	725	2763	26.2%
45～49歳	845	3134	27.0%
50～54歳	893	2849	31.3%
55～59歳	835	2245	37.2%
60～64歳	843	1954	43.1%
65～69歳	1088	2133	51.0%
70～74歳	1316	2184	60.3%
75～79歳	1102	1798	61.3%
80～84歳	688	1339	51.4%
85歳以上	440	1288	34.2%
無回答	28	-	-
計	10381	30000	34.6%

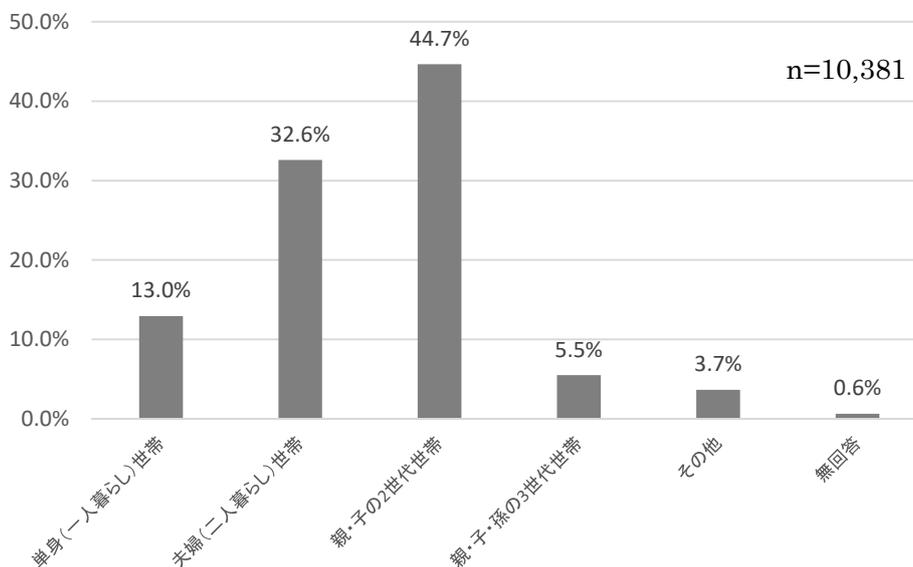
問2 性別をお答えください。(いずれか一つに○)

「女性」が55.8%と最も多く、次いで「男性」が43.8%となっています。



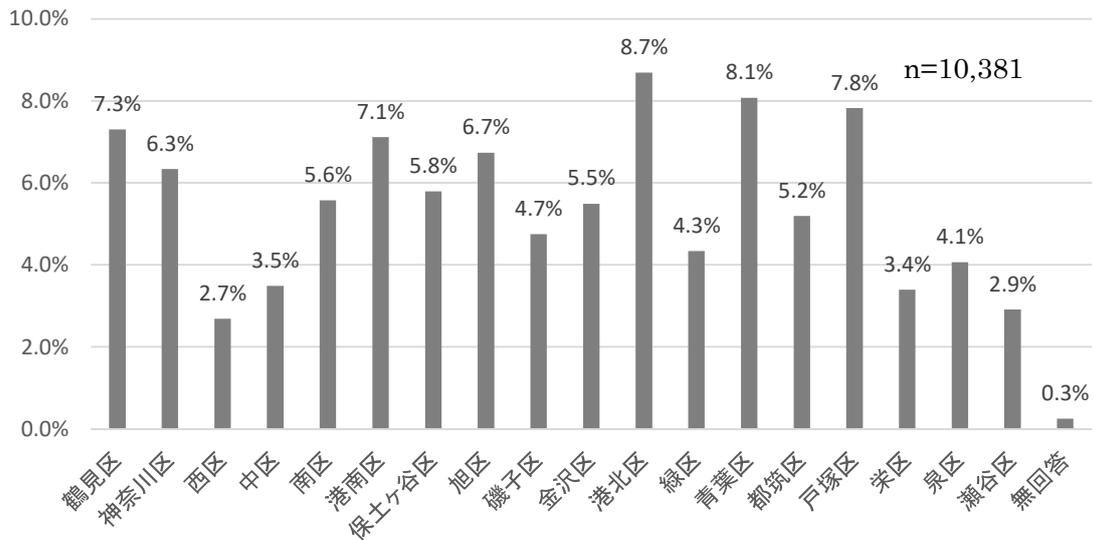
問3 あなたの世帯構成についてお答えください。(いずれか一つに○)

「親・子の2世代世帯」が44.7%と最も多く、次いで「夫婦（二人暮らし）世帯」が32.6%、「単身（一人暮らし）世帯」が13.0%となっています。



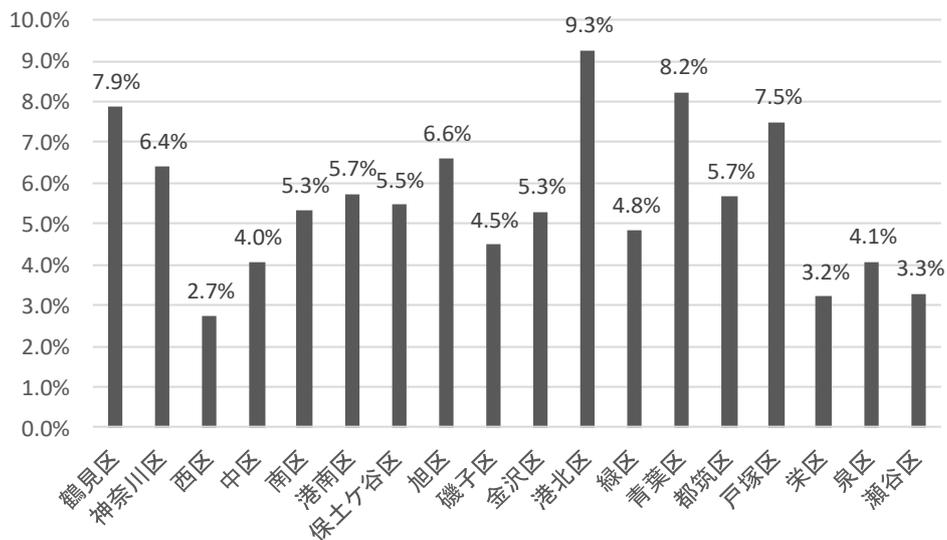
問4 お住いの区をお答えください。(いずれか一つに○)

「港北区」が8.7%と最も多く、次いで「青葉区」が8.1%、「戸塚区」が7.8%となっています。



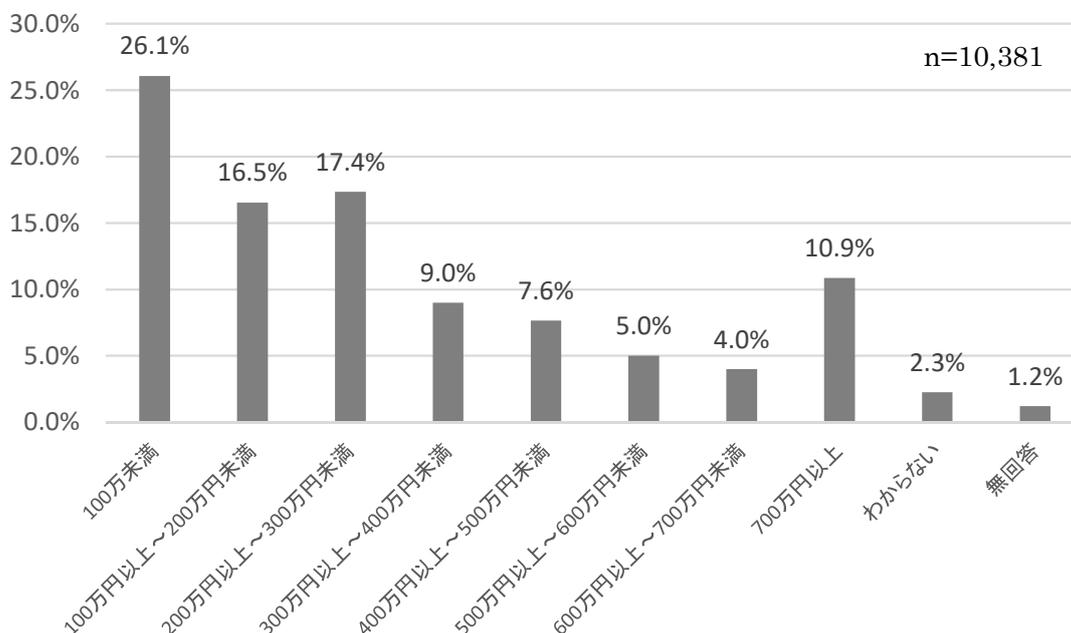
【参考】本市の区別人口構成（令和元年9月30日現在住民基本台帳による）

「港北区」が9.3%と最も多く、次いで「青葉区」が8.2%、「鶴見区」が7.9%となっています。

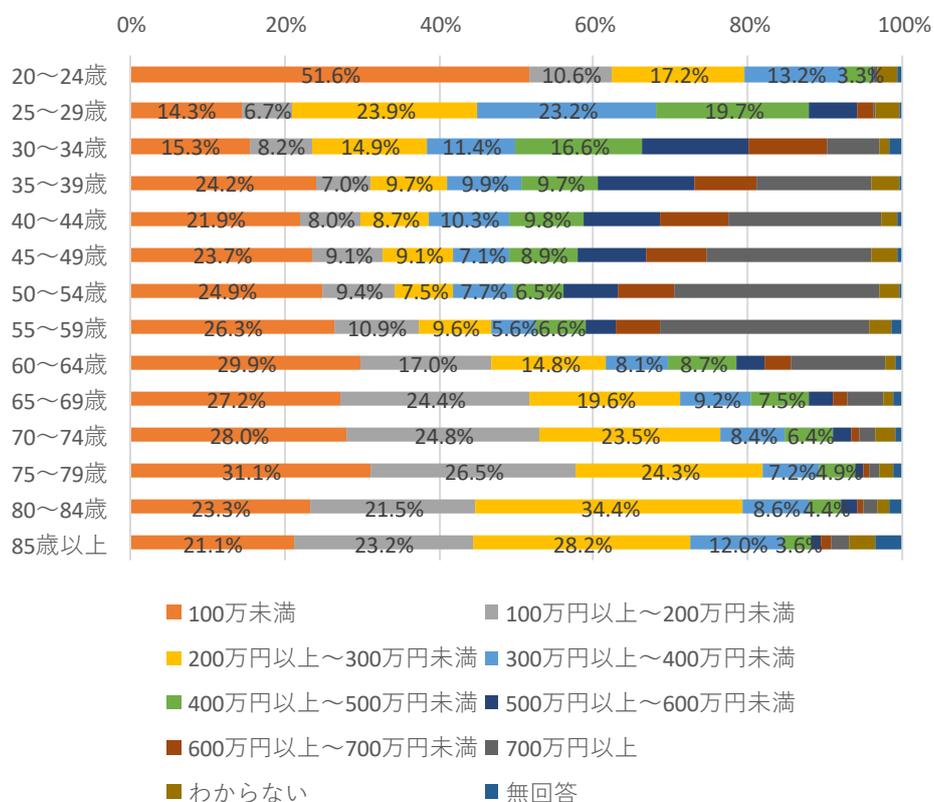


問5 あなたの年間の収入額についてお答えください。(いずれか一つに○)

「100万未満」が26.1%と最も多く、次いで「200万円以上～300万円未満」が17.4%、「100万円以上～200万円未満」が16.5%となっています。

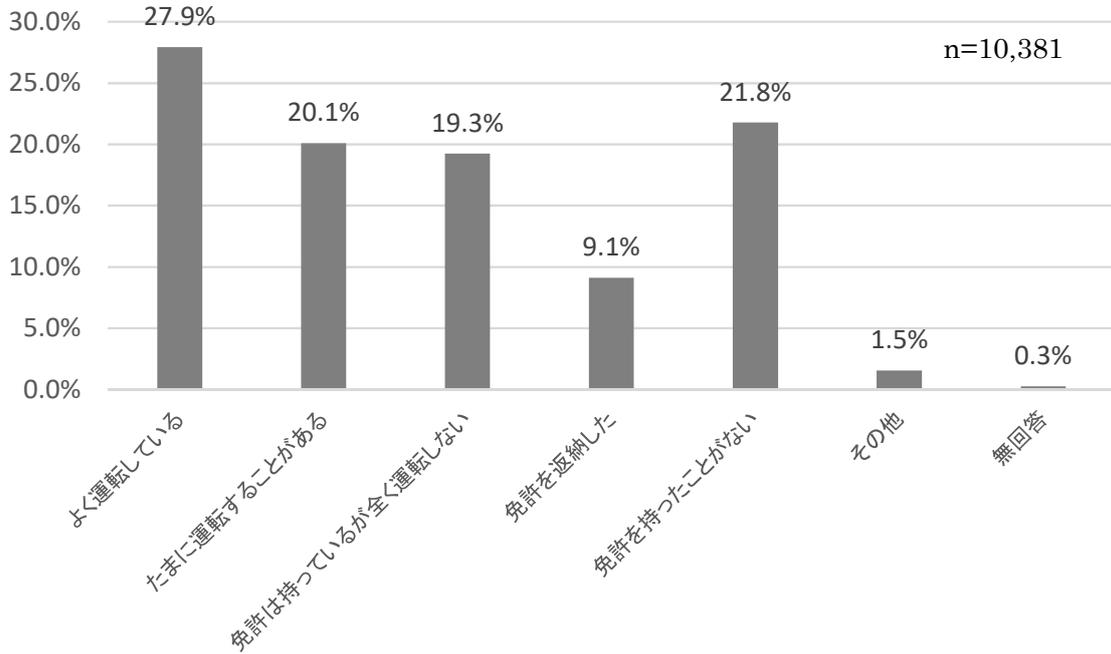


これを年代階層別にみると、20～24歳及び65歳以上で年収200万円以下が多くなっています。

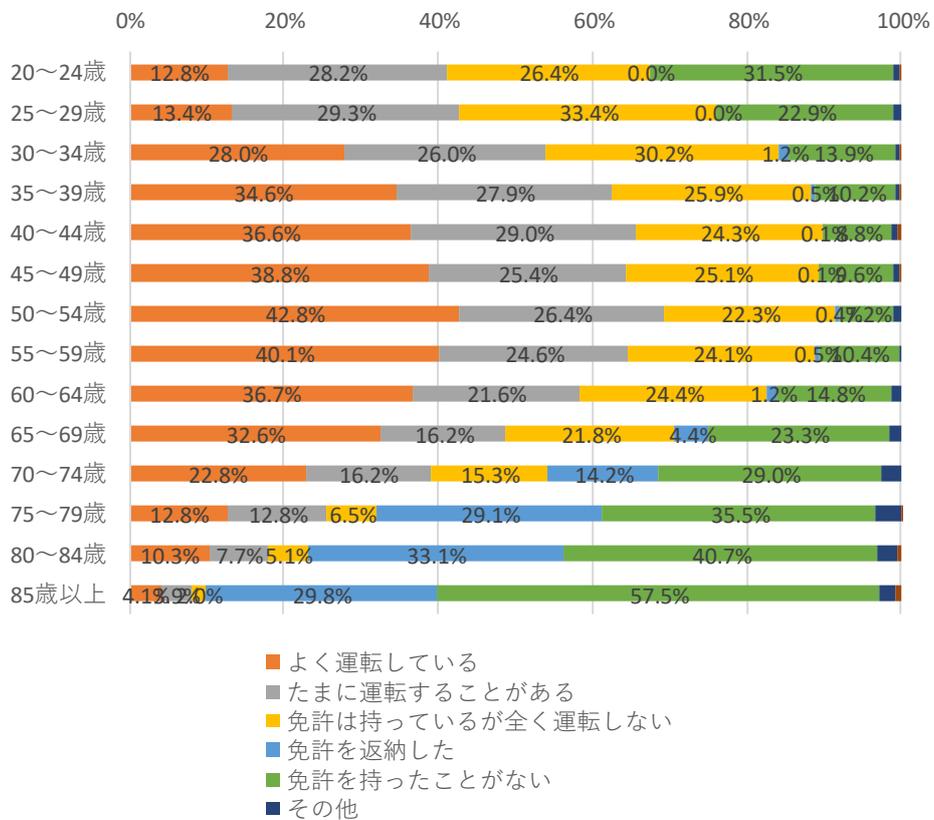


問6 あなたは自動車を運転していますか。(いずれか一つに○)

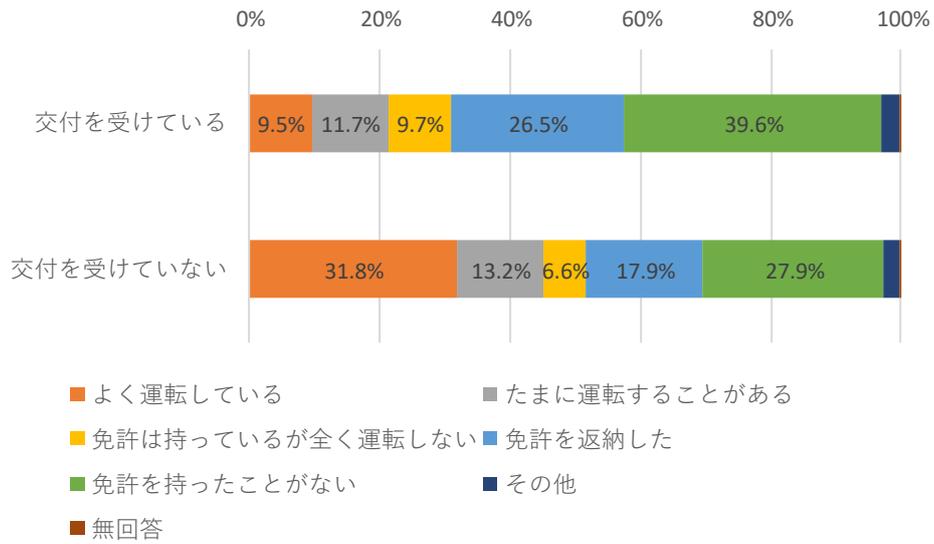
「よく運転している」が27.9%と最も多く、次いで「免許を持ったことがない」が21.8%、「たまに運転することがある」が20.1%となっています。



これを年代階層別にみると、よく運転している年齢層は50～54歳がピークになっています。

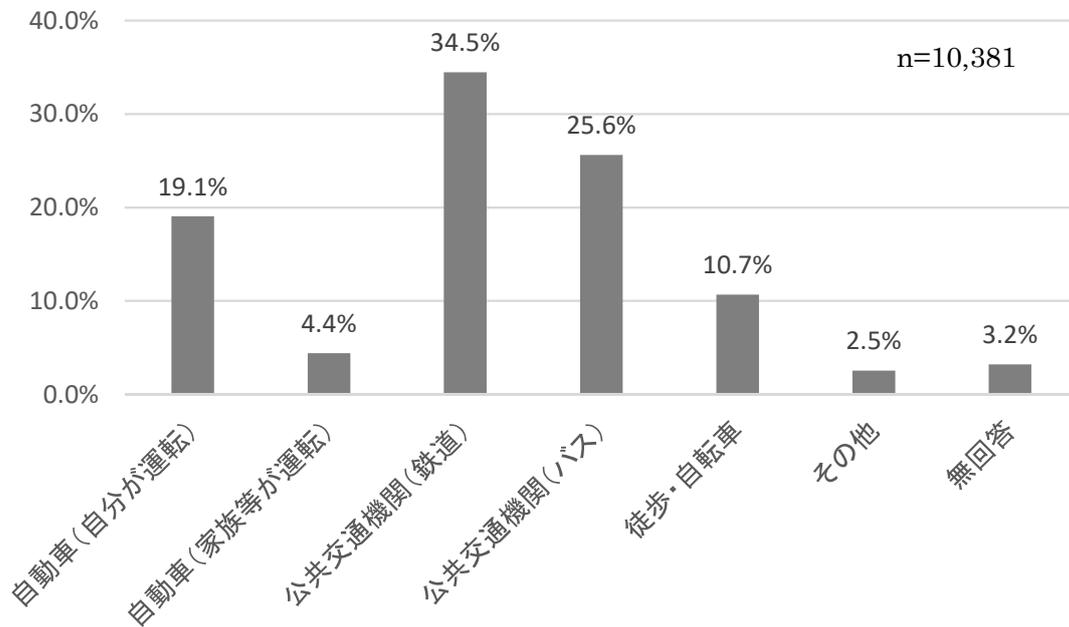


また、敬老パス交付の有無別にみると、「交付を受けている」回答者で「免許を返納した」また「免許を持ったことがない」が合わせて6割を超えています。



問7 あなたの主な移動手段についてお答えください。(いずれか一つに○)

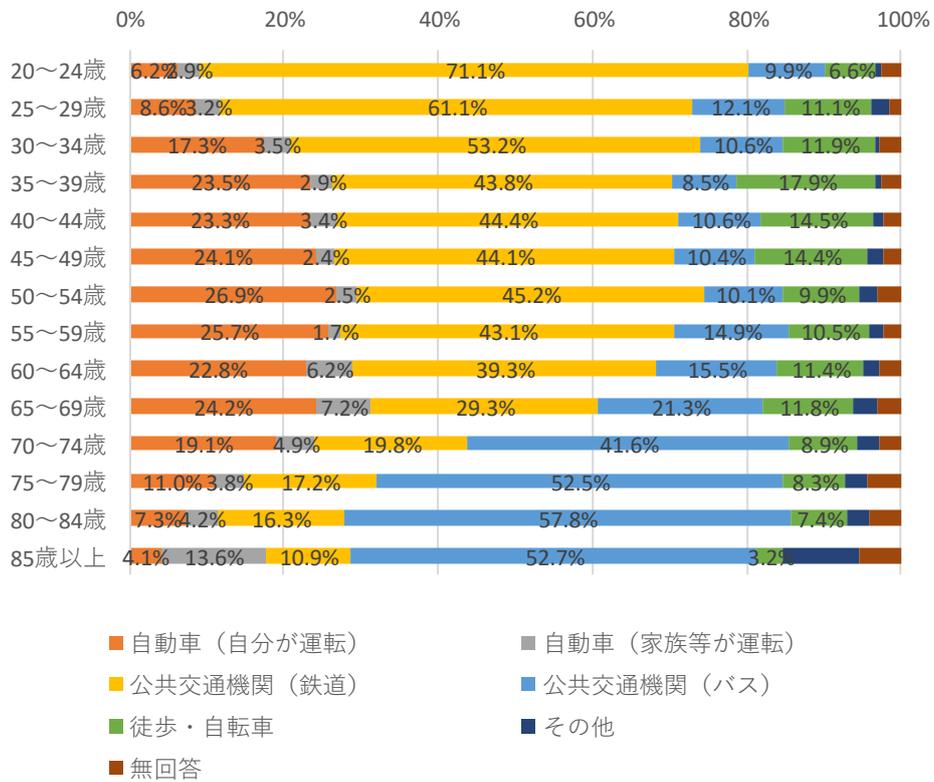
「公共交通機関（鉄道）」が34.5%と最も多く、次いで「公共交通機関（バス）」が25.6%、「自動車（自分が運転）」が19.1%となっています。



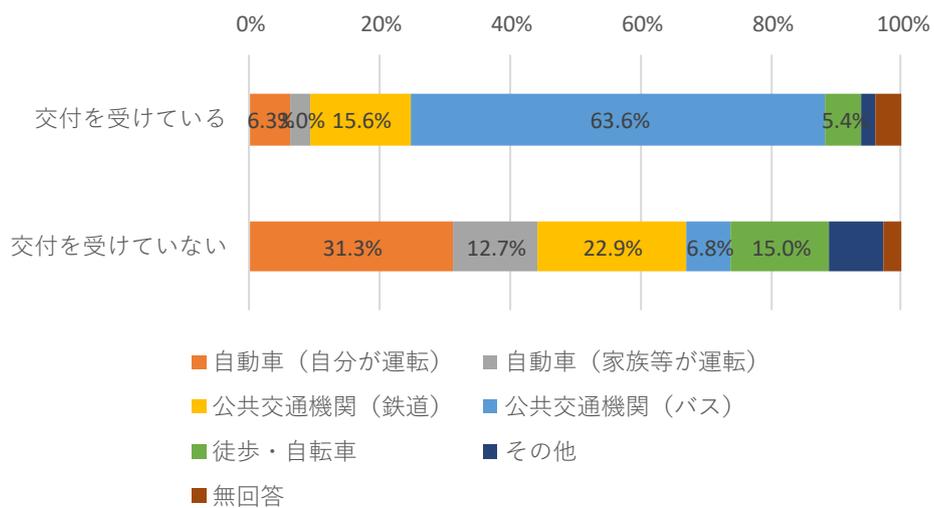
これを年代階層別にみると、30歳未満は「自動車（自分が運転）」の割合が10%未満である一方、「公共交通機関（鉄道）」が60~70%程度となっており鉄道が主な移動手段となっています。

30~60歳代は「自動車（自分で運転）」が20%前後となり、「公共交通機関（鉄道）」は40~50%程度となっています。

65歳以上においては、「自動車（自分が運転）」「公共交通機関（鉄道）」の割合が低下する一方、「公共交通機関（バス）」の割合が増えています。

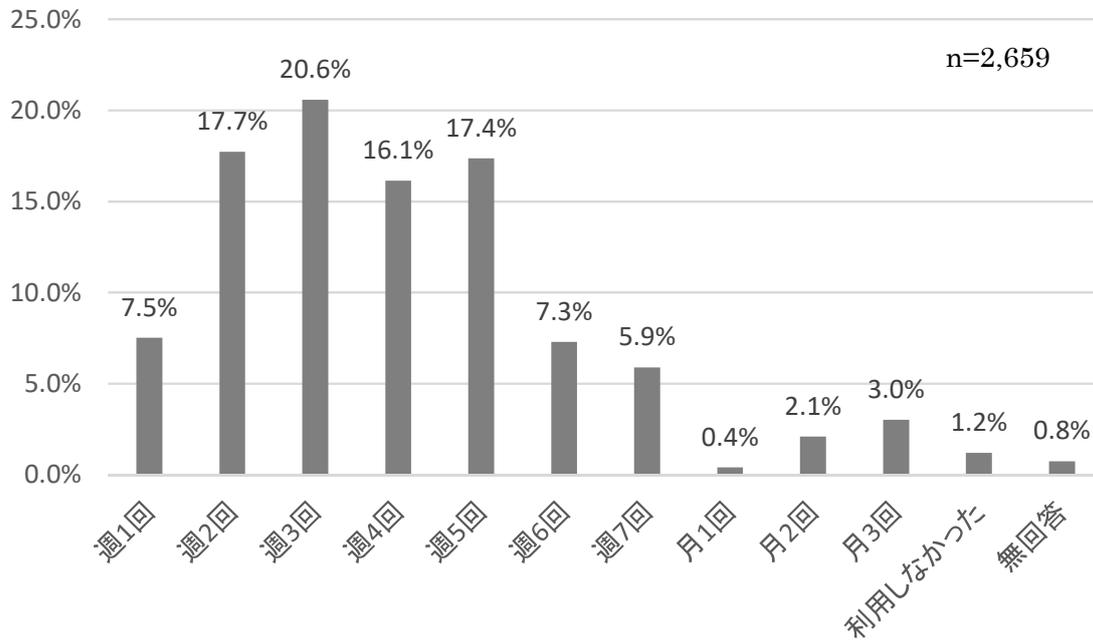


また、敬老パス交付の有無別にみると、「交付を受けている」回答者で「公共交通機関（バス）」が6割超となっています。

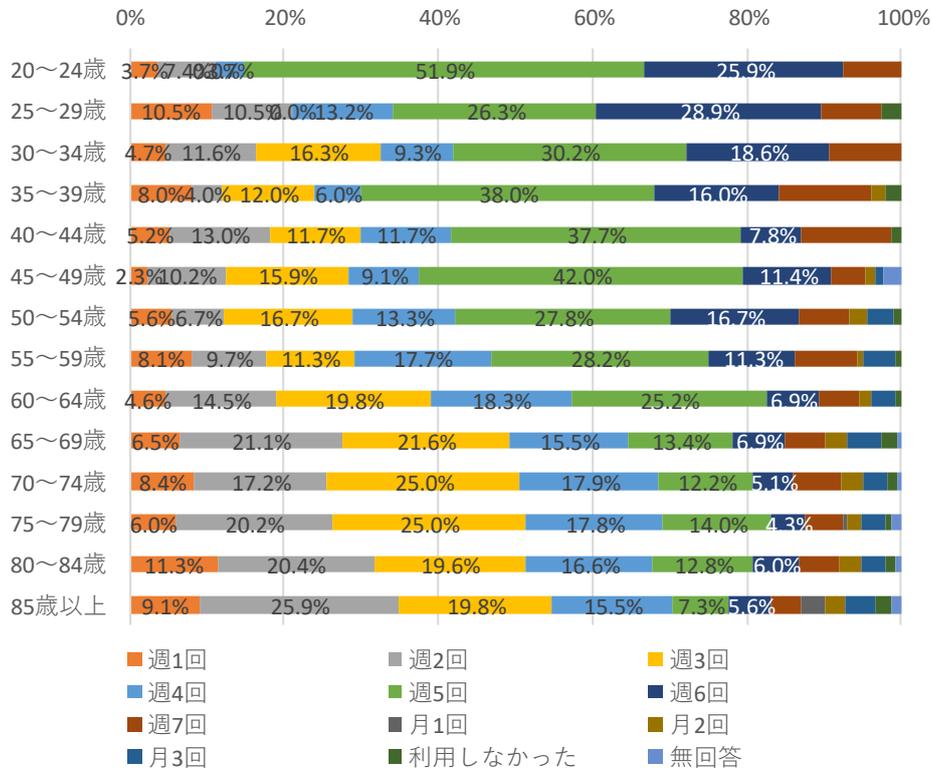


問8 問7で「4. 公共交通機関（バス）」と回答された方のみにおたずねします。7月にバスを、おおよそ何回利用しましたか。ただし、1往復を1回として数えます。（いずれか一つに○）

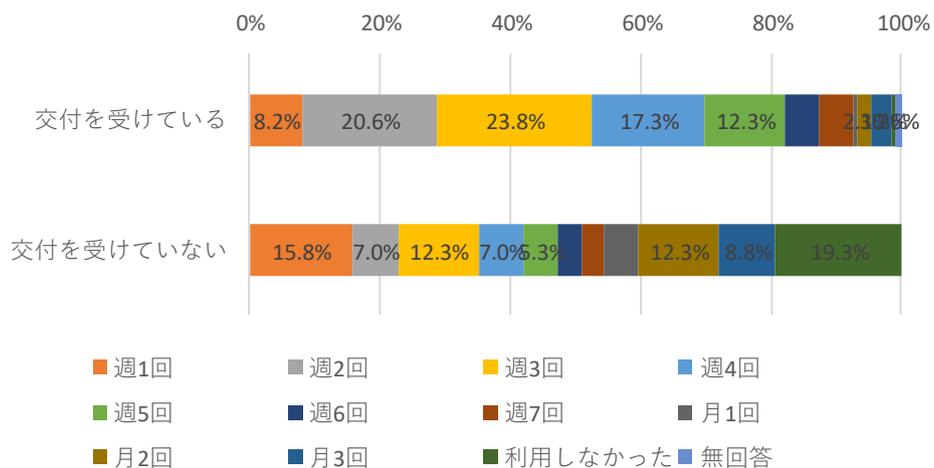
「週3回」が20.6%と最も多く、次いで「週2回」が17.7%、「週5回」が17.4%となっています。



これを年代階層別にみると、以下のとおりとなっています。

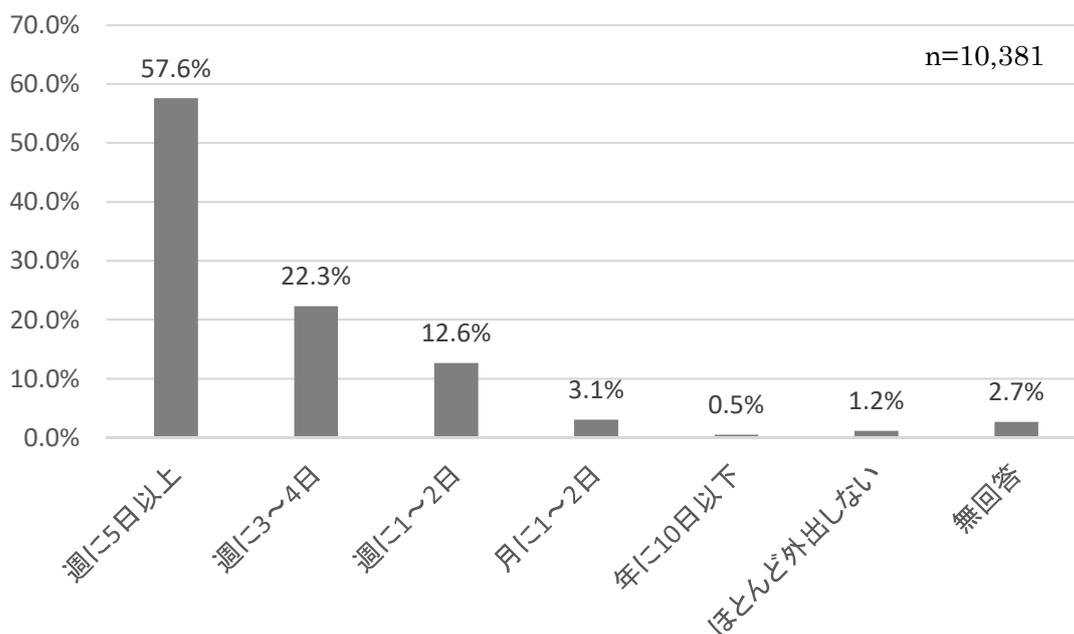


また、敬老パス交付の有無別にみると、以下のとおりとなっています。

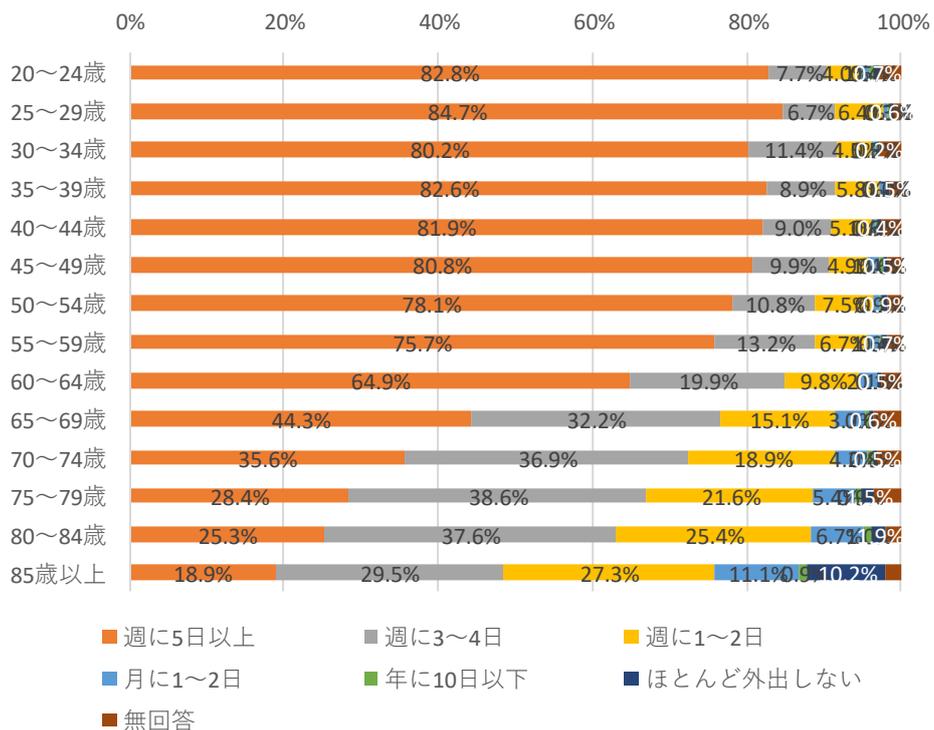


問9 あなたはどれくらいの頻度で外出していますか。(いずれか一つに○)

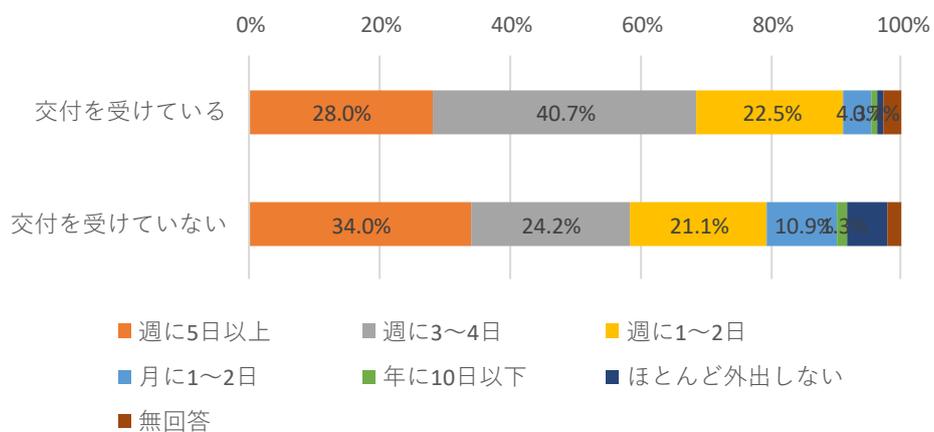
「週に5日以上」が57.6%と最も多く、次いで「週に3~4日」が22.3%、「週に1~2日」が12.6%となっています。



これを年代階層別にみると、以下のとおりとなっています。



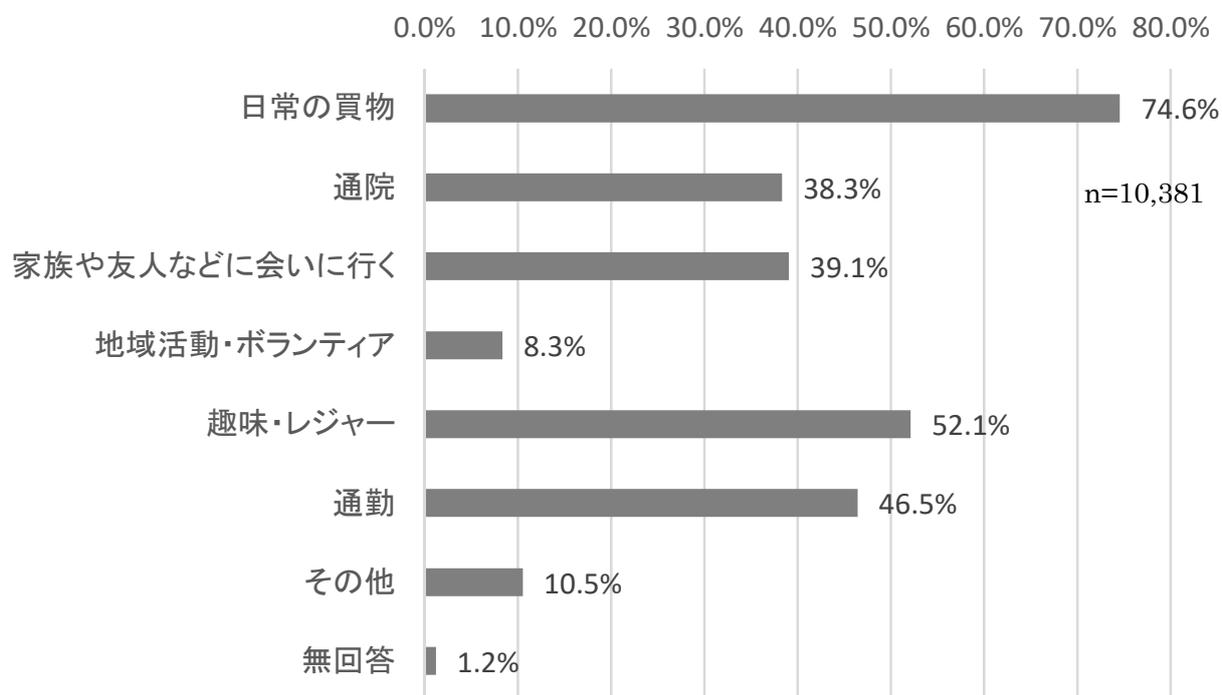
また、敬老パス交付の有無別にみると、以下のとおりとなっています。



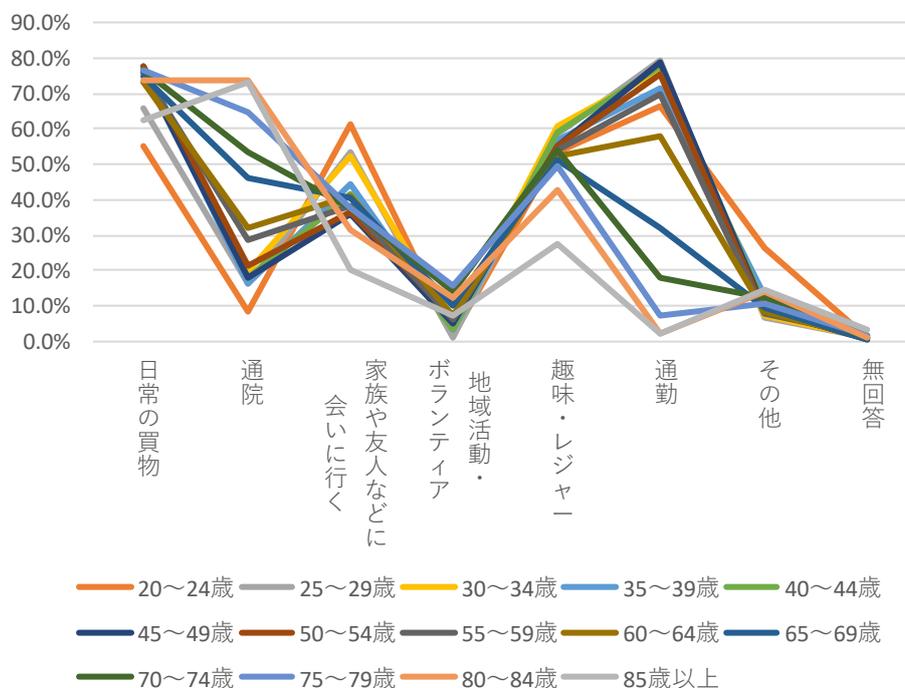
問10 あなたはどのような目的で外出することが多いですか。

(当てはまるものすべてに○)

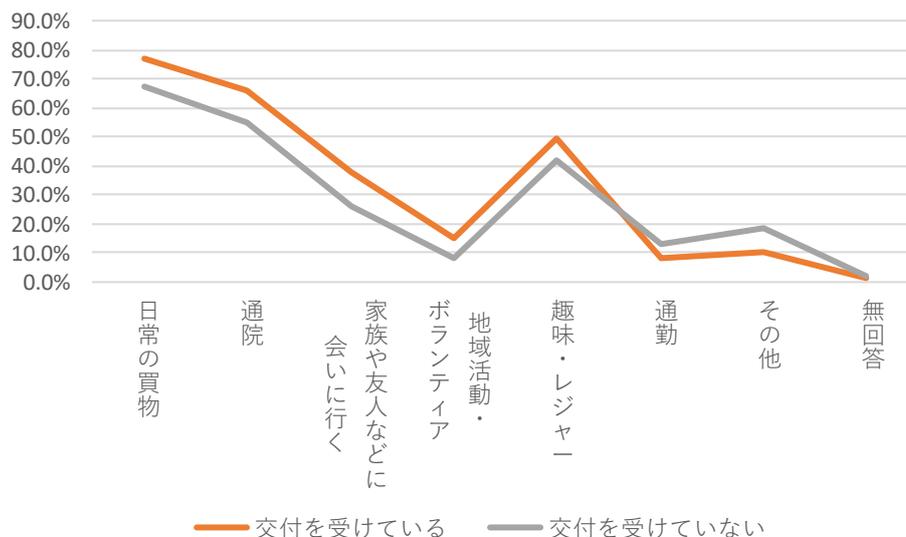
「日常の買物」が74.6%と最も多く、次いで「趣味・レジャー」が52.1%、「通勤」が46.5%となっています。



これを年代階層別にみると、以下のとおりとなっています。

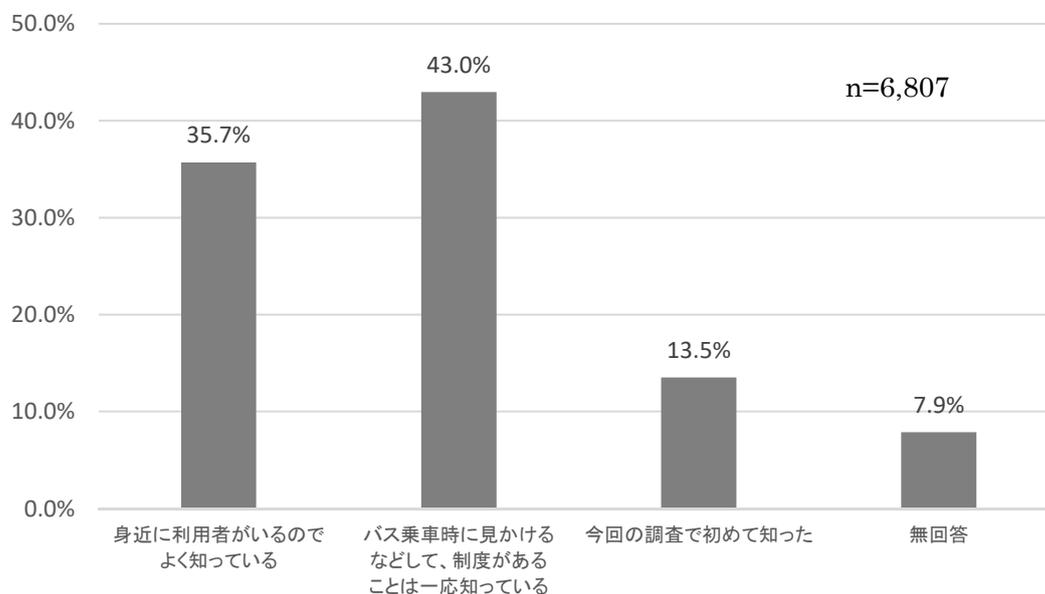


また、敬老パス交付の有無別にみると、以下のとおりとなっています。



問 1 1 横浜市が実施している敬老パス（制度）をご存じでしたか。（いずれか一つに○）
 ※問 1 1 は、70歳未満の方のみ回答。

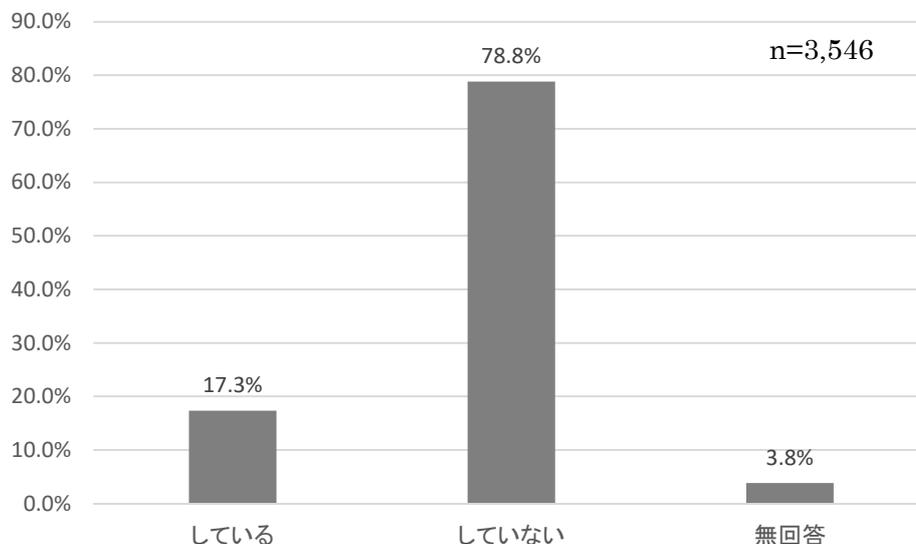
「バス乗車時に見かけるなどして、制度があることは一応知っている」が43.0%と最も多く、次いで「身近に利用者がいるのでよく知っている」が35.7%、「今回の調査で初めて知った」が13.5%となっています。



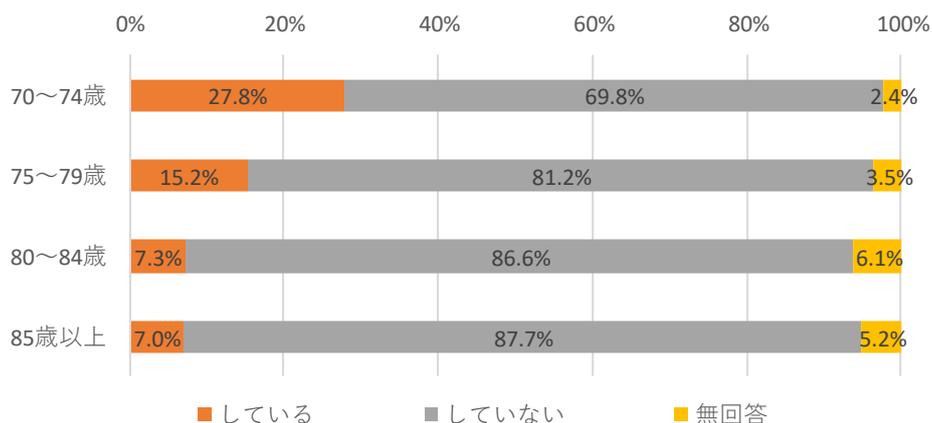
問12 あなたはお仕事をしていますか。(いずれか一つに○)

※問12は、70歳以上の方のみ回答。

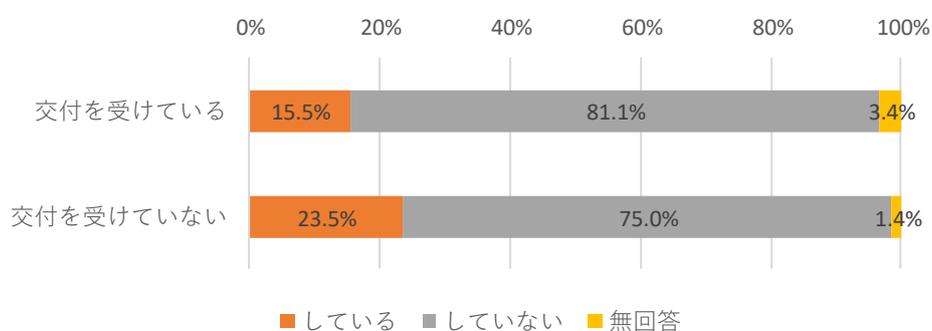
「していない」が78.8%、「している」が17.3%となっています。



これを年齢階層別にみると、仕事をしている人の割合は「70～74歳」で27.8%、「75～79歳」で15.2%、「80～84歳」で7.3%、「85歳以上」で7.0%となっています。



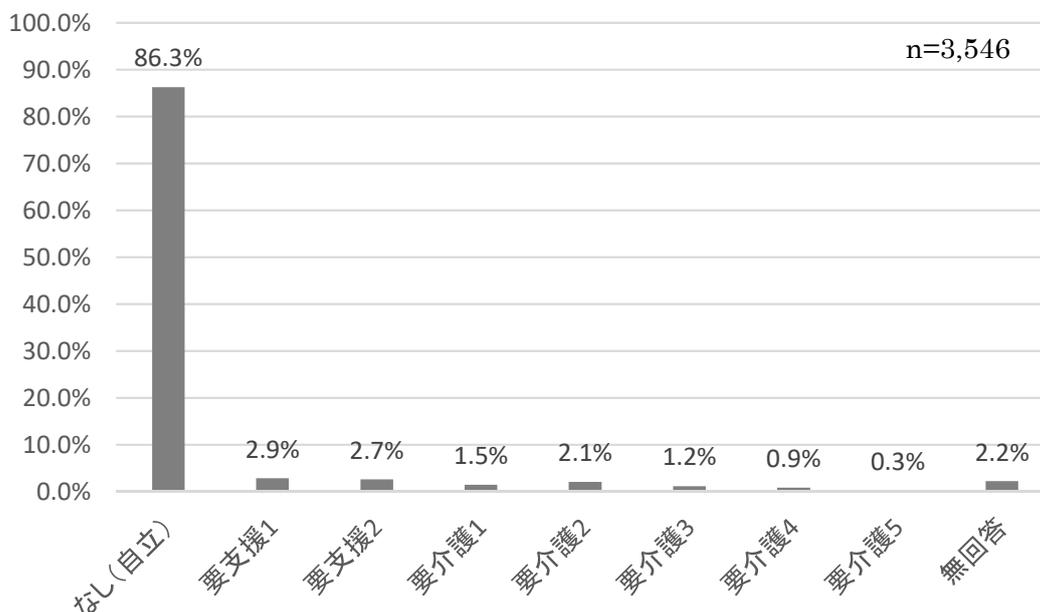
また、敬老パス交付の有無別にみると、仕事をしている人の割合は「交付を受けている」人が15.5%、「交付を受けていない」人は23.5%となっています。



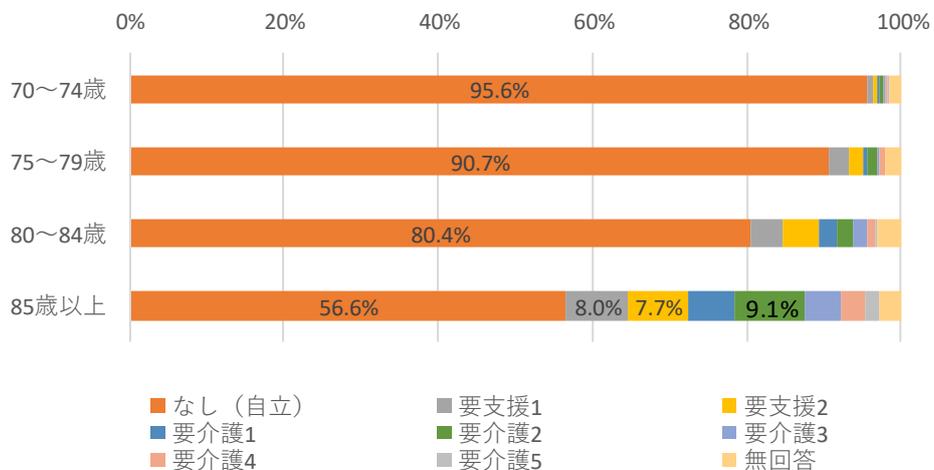
問13 あなたは要介護認定を受けていますか。(いずれか一つに○)

※問13は、70歳以上の方のみ回答。

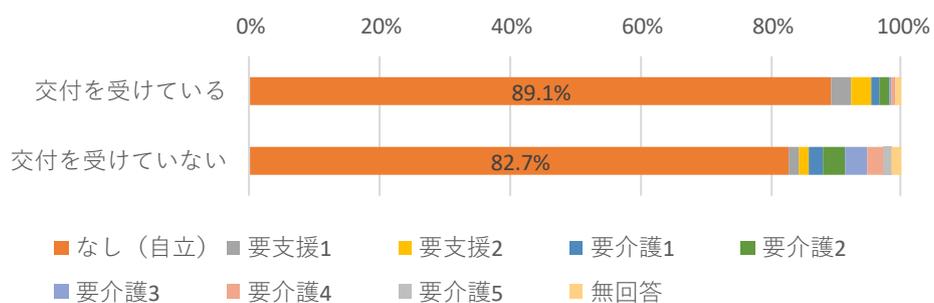
「なし(自立)」が86.3%と最も多くなっています。



これを年代階層別にみると、「なし(自立)」が70~74歳で95.6%、75~79歳で90.7%、80~84歳で80.4%、85歳以上で56.6%となっています。



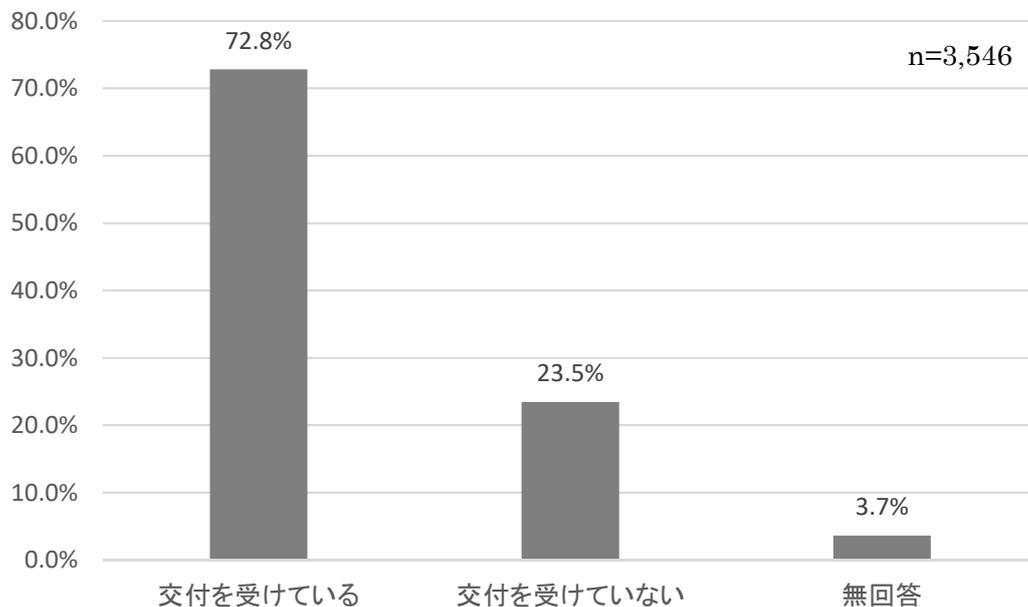
また敬老パス交付の有無別にみると、「なし(自立)」が「交付を受けている」人で89.1%、「交付を受けていない人」で82.7%となっています。



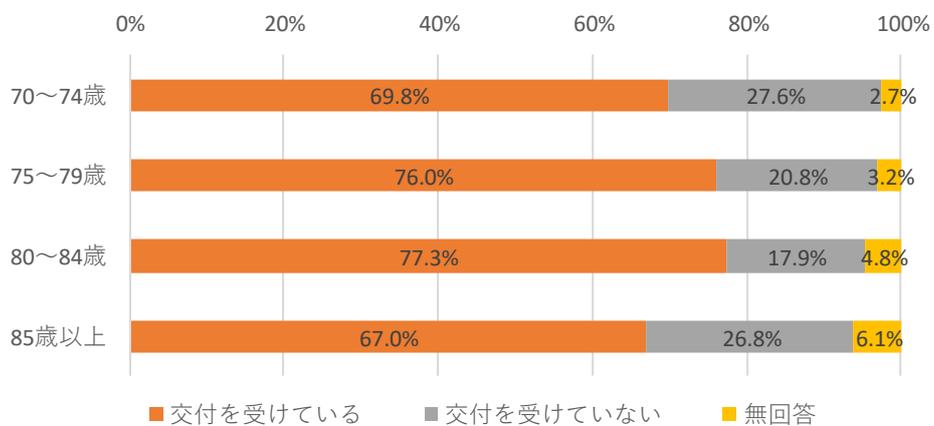
問14 あなたは敬老パスの交付を受けていますか。(いずれか一つに○)

※問14は、70歳以上の方のみ回答。

「交付を受けている」が72.8%、「交付を受けていない」が23.5%となっています。

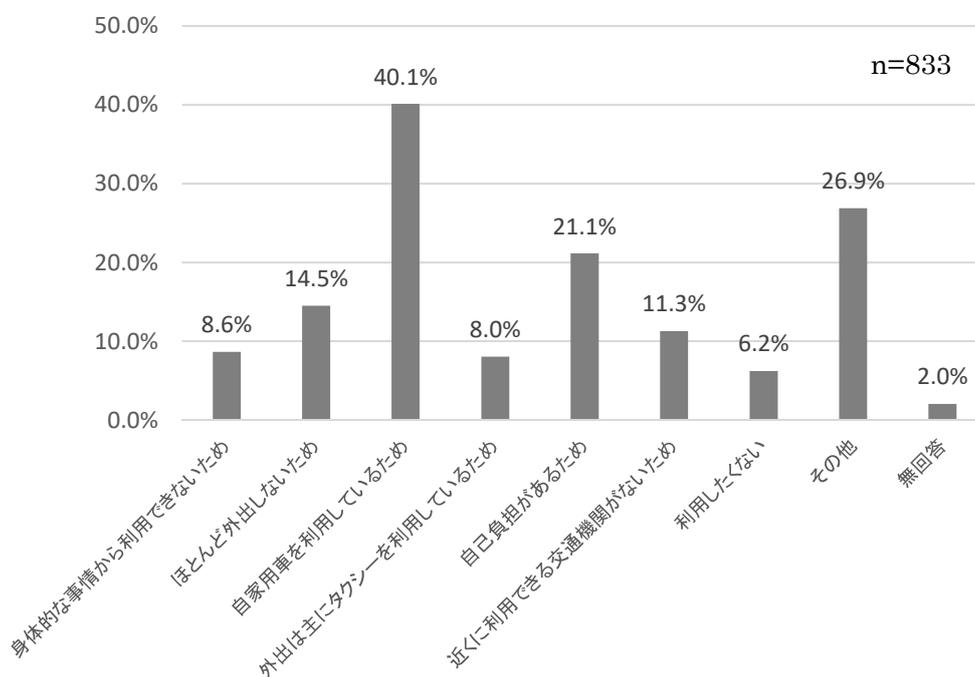


これを年代階層別にみると、「交付を受けている」人は、70～74歳で69.8%、75～79歳で76.0%、85歳以上で67.0%となっています。

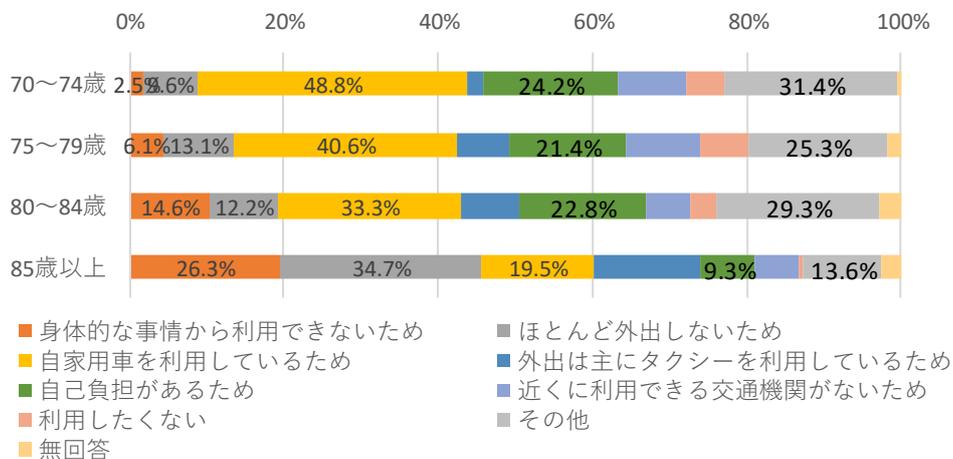


問15 問14で「2. 交付を受けていない」と回答された方におたずねします。敬老パスの交付を受けていない理由は何ですか。（2つまで○）

「自家用車を利用しているため」が40.1%と最も多く、次いで「その他」が26.9%、「自己負担があるため」が21.1%となっています。



これを年齢階層別別にみると、以下のとおりとなっています。

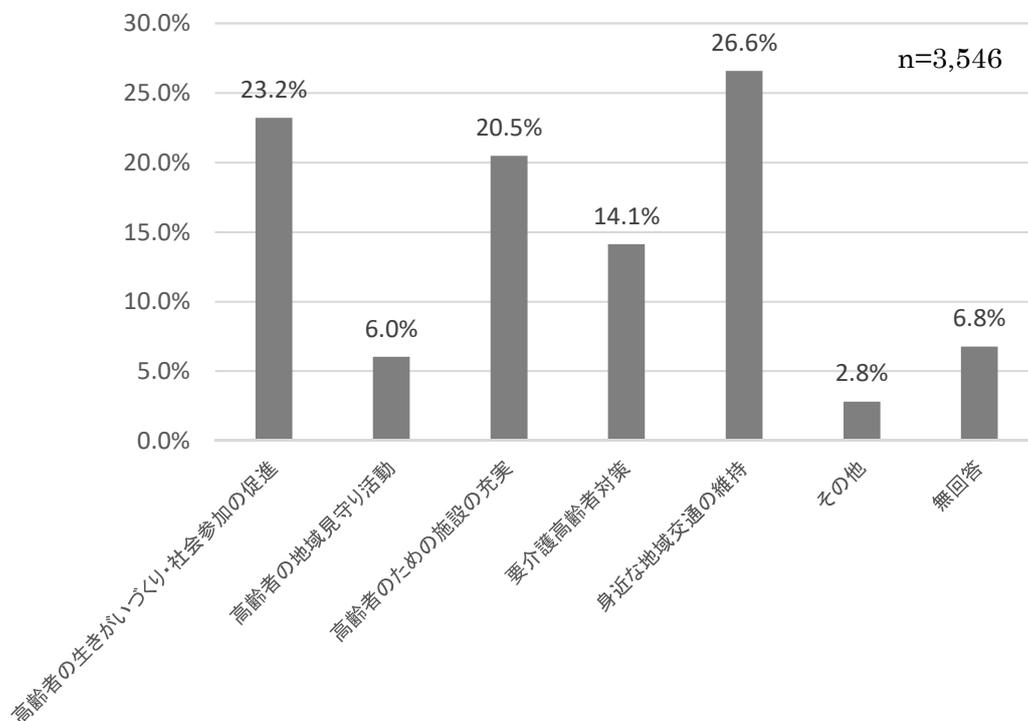


問16 今後充実を希望する高齢者福祉等の施策についてどのように考えますか。

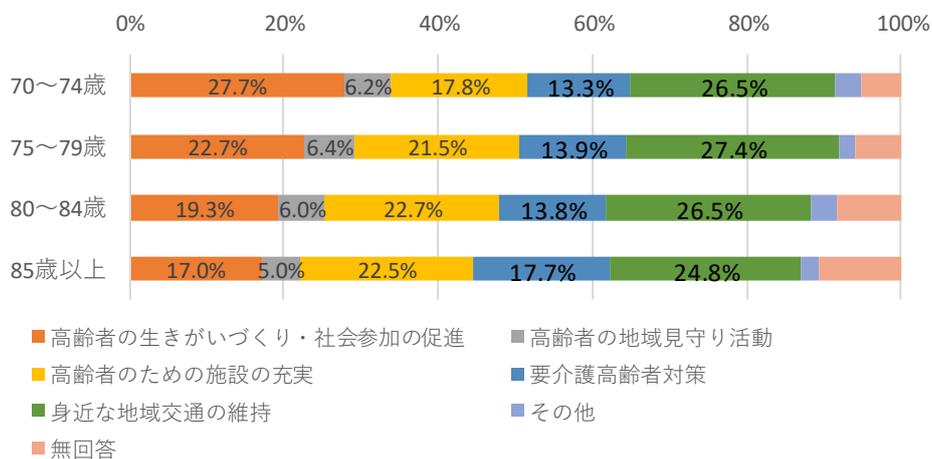
(いずれか一つに○)

※問16は、70歳以上の方のみ回答。

「身近な地域交通の維持」が26.6%と最も多く、次いで「高齢者の生きがいがづくり・社会参加の促進」が23.2%、「高齢者のための施設の充実」が20.5%となっています。



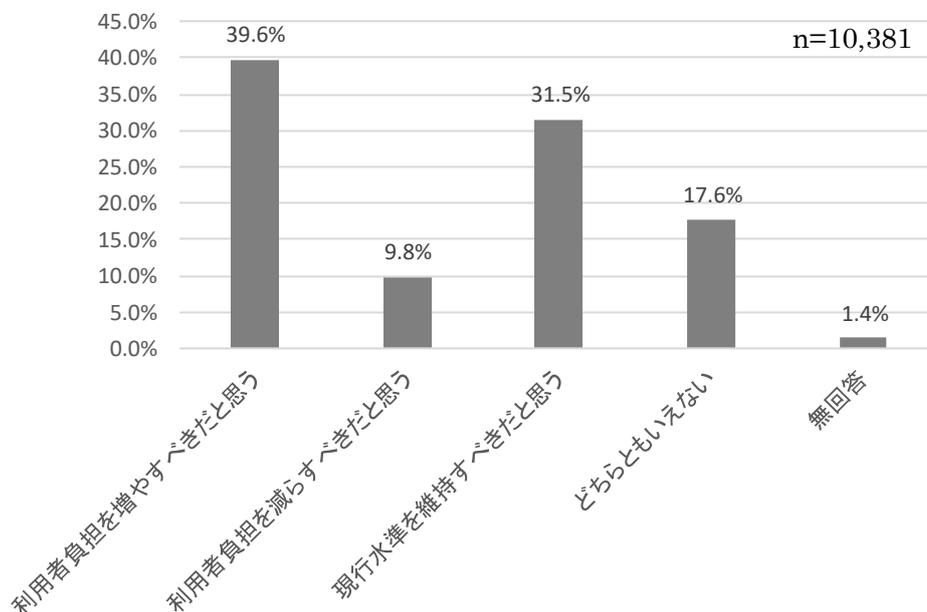
これを年代階層別にみると、以下のとおりとなっています。



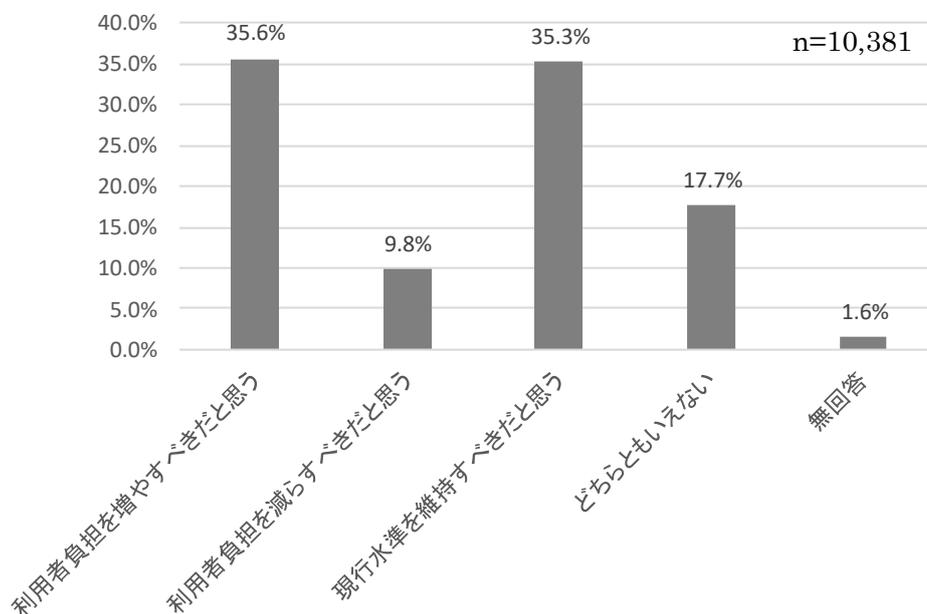
問17 敬老パスの利用者負担について、今後どうすべきと思いますか。(いずれか一つに○)

[ウエイトバック集計結果]

「利用者負担を増やすべきだと思う」が39.6%と最も多く、次いで「現行水準を維持すべきだと思う」が31.5%、「どちらともいえない」が17.6%となっています。

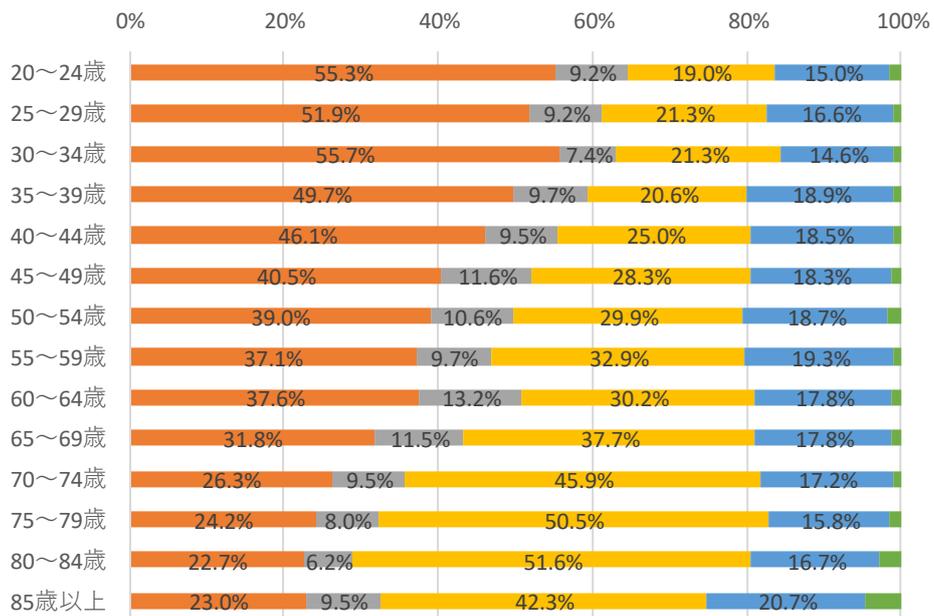


[(参考) ウエイトバック集計前の単純集計結果]



[年代別集計結果]

以下のとおりとなっています。

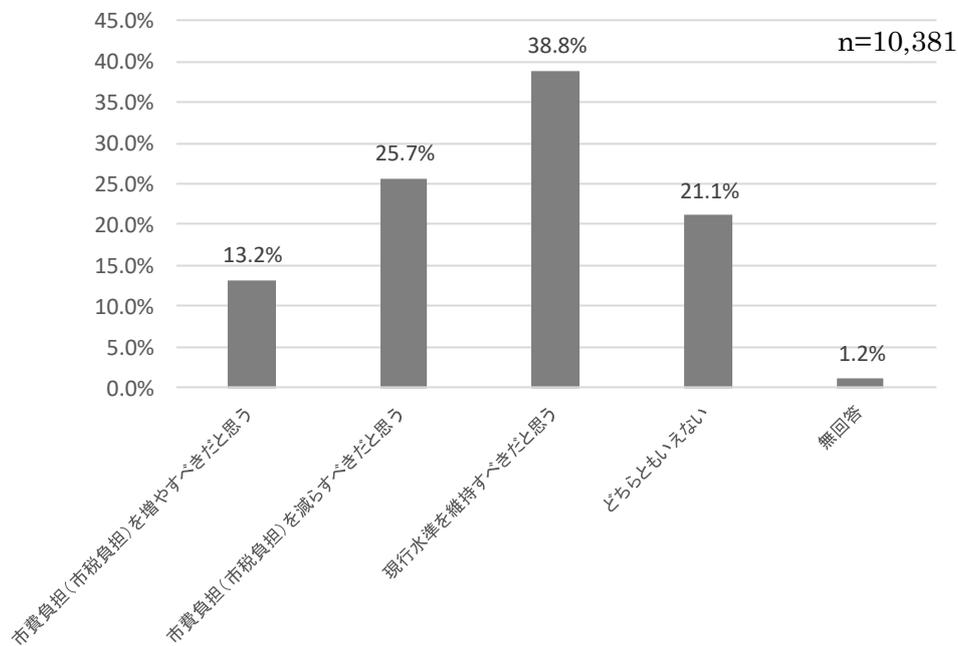


- 利用者負担を増やすべきだと思う ■ 利用者負担を減らすべきだと思う
- 現行水準を維持すべきだと思う ■ どちらともいえない
- 無回答

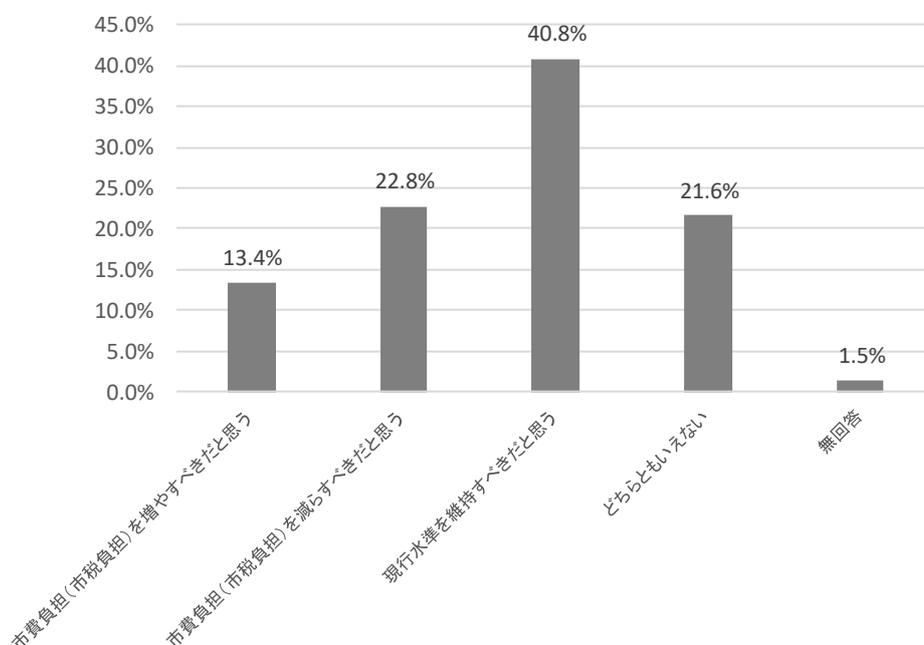
問18 敬老パスの市費（市民の皆様からの税金）負担について、今後どうすべきと思いますか。（いずれか一つに○）

[ウエイトバック集計結果]

「現行水準を維持すべきだと思う」が38.8%と最も多く、次いで「市費負担（市税負担）を減らすべきだと思う」が25.7%、「どちらともいえない」が21.1%となっています。

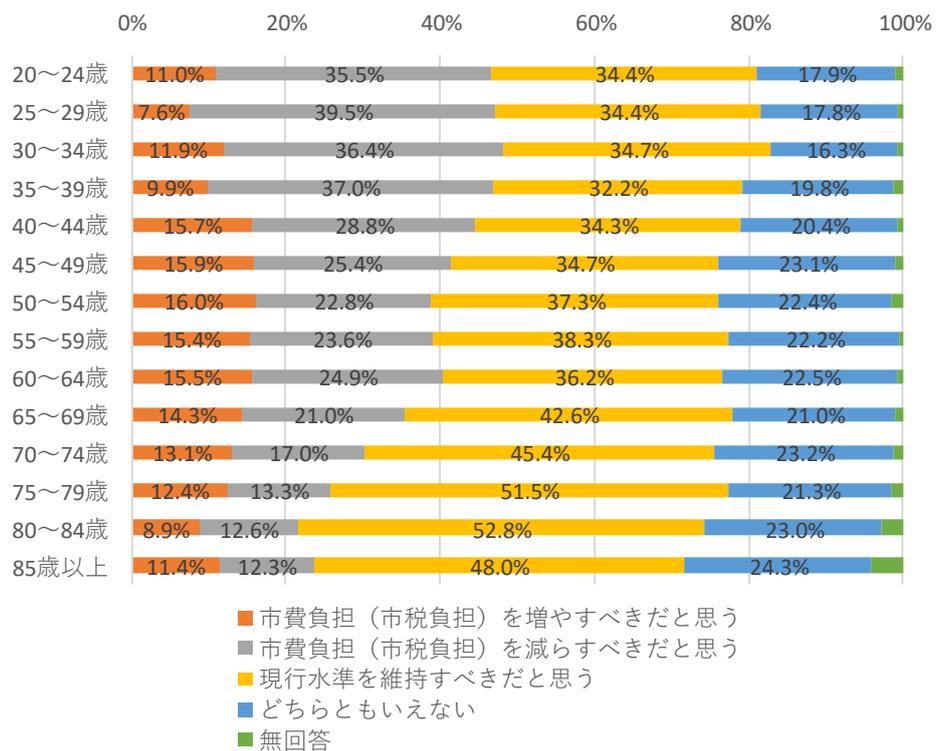


[(参考) ウエイトバック集計前の単純集計結果]



[年代別集計結果]

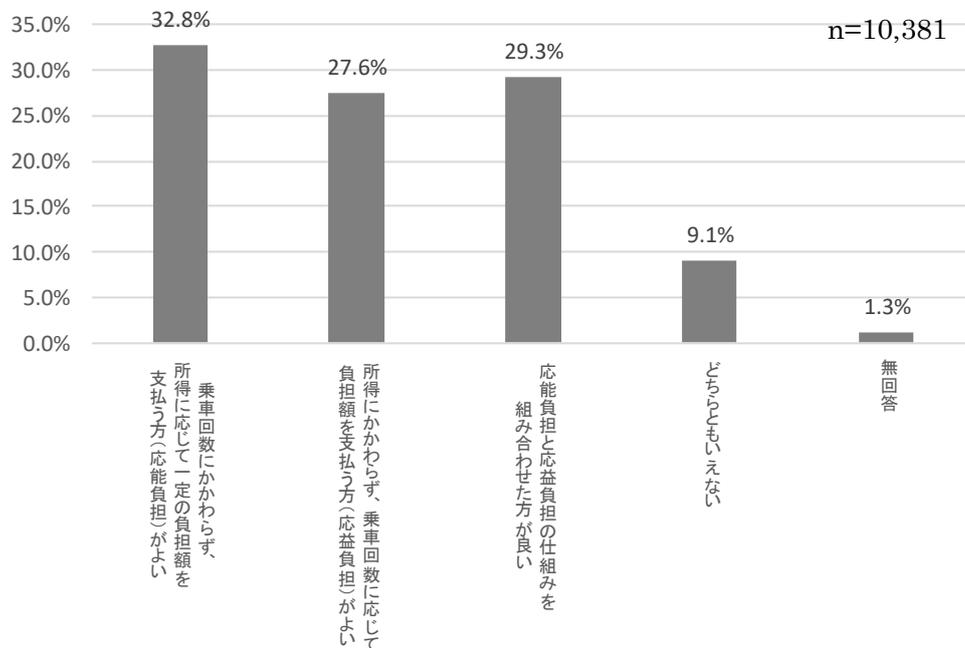
以下のとおりとなっています。



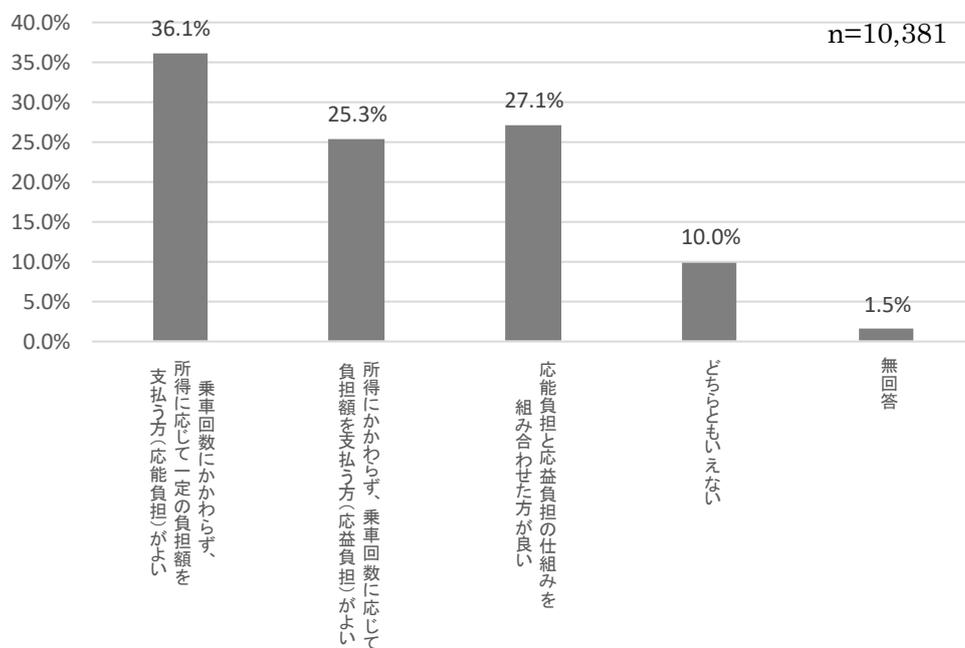
問19 敬老パスの利用者負担の支払い方についてどう思いますか。(いずれか一つに○)

[ウエイトバック集計結果]

「乗車回数にかかわらず、所得に応じて一定の負担額を支払う方（応能負担）がよい」が32.8%、「応能負担と応益負担の仕組みを組み合わせた方がよい」が29.3%、「所得にかかわらず、乗車回数に応じて負担額を支払う方（応益負担）がよい」が27.6%となっています。

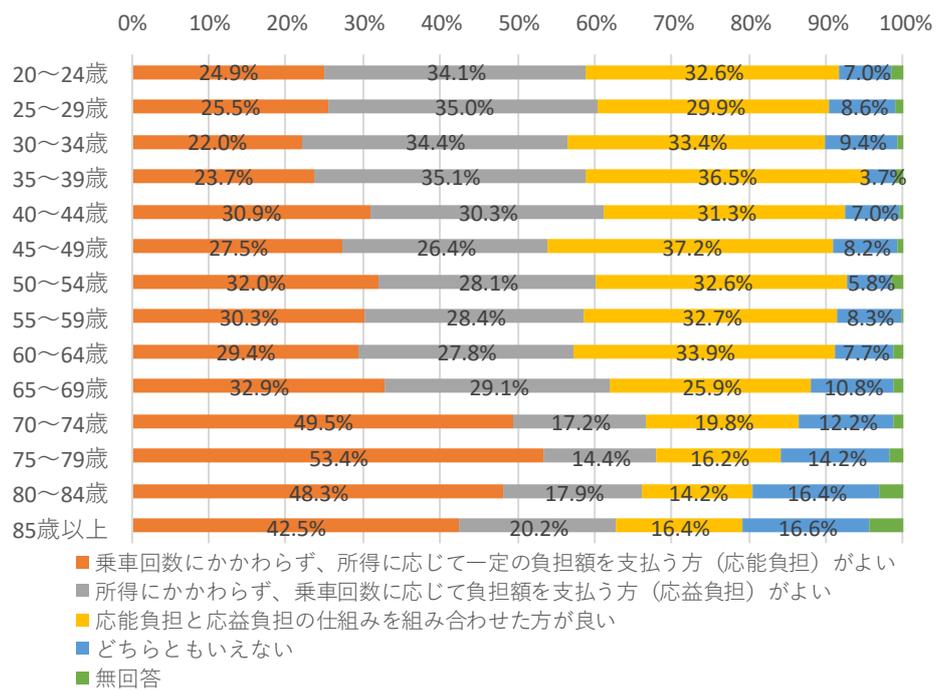


[(参考) ウエイトバック集計前の単純集計結果]



[年代別集計結果]

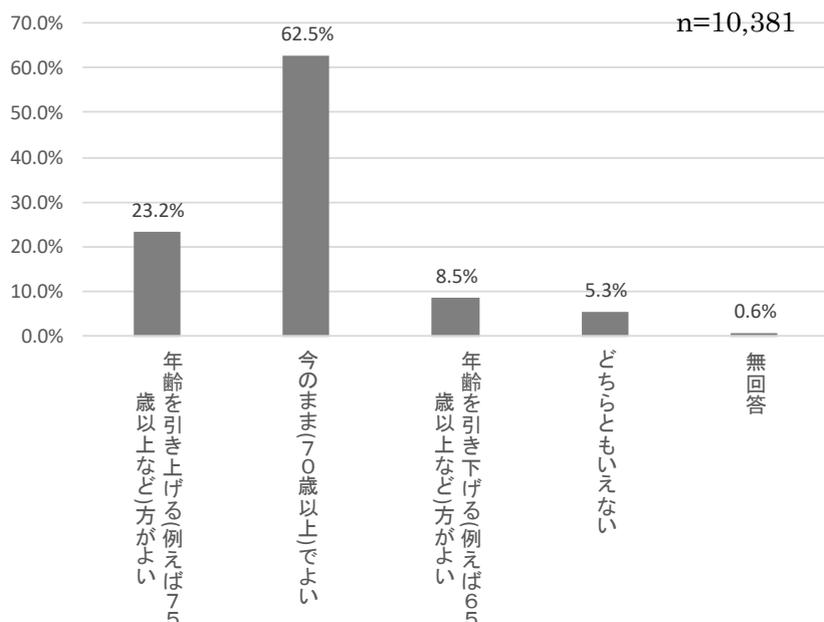
以下のとおりとなっています。



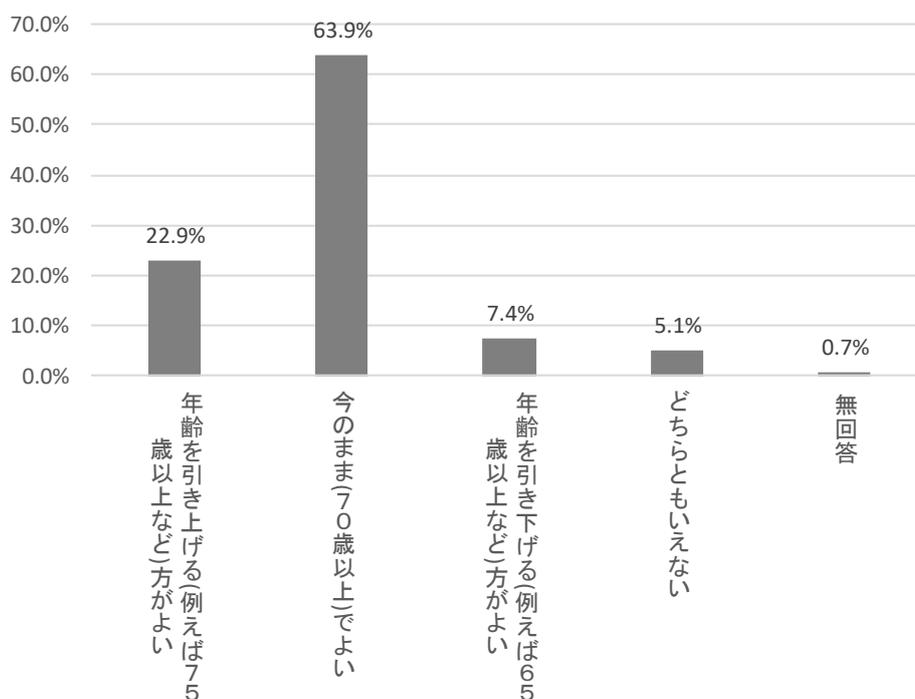
問20 健康寿命（心身ともに自立し健康的に生活できる期間）は年々伸びており、平成28年は男性72.14歳、女性74.79歳で平成13年と比べると、男性が2.74歳、女性が2.14歳増加しています。このような状況の中、敬老パスの対象年齢についてどのように考えますか。（いずれか一つに○）

[ウエイトバック集計結果]

「今のまま（70歳以上）でよい」が62.5%と最も多く、次いで「年齢を引き上げる（例えば75歳以上など）方がよい」が23.2%、「年齢を引き下げる（例えば65歳以上など）方がよい」が8.5%となっています。

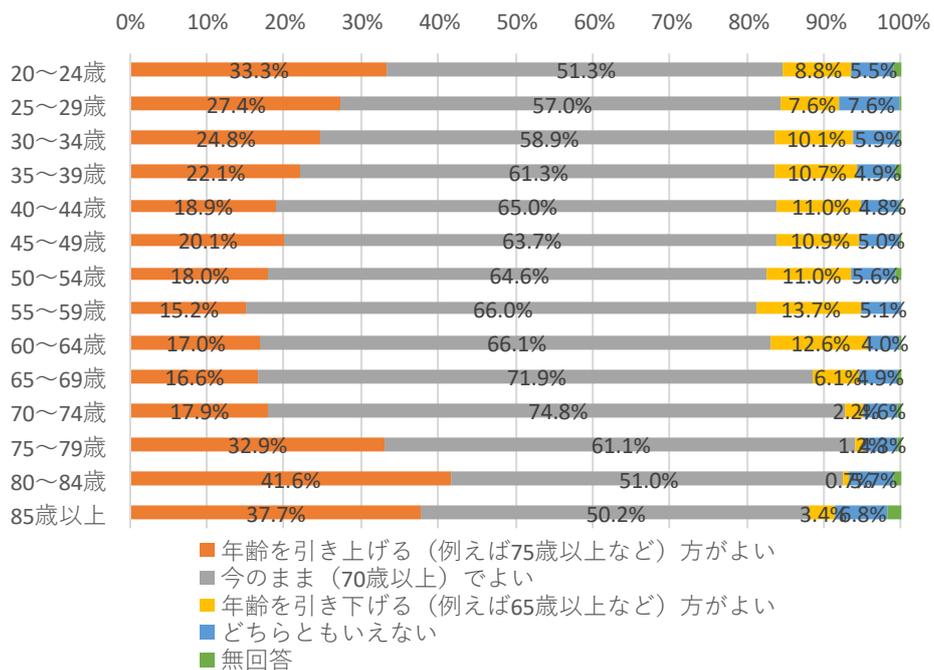


[(参考) ウエイトバック集計前の単純集計結果]



[年代別集計結果]

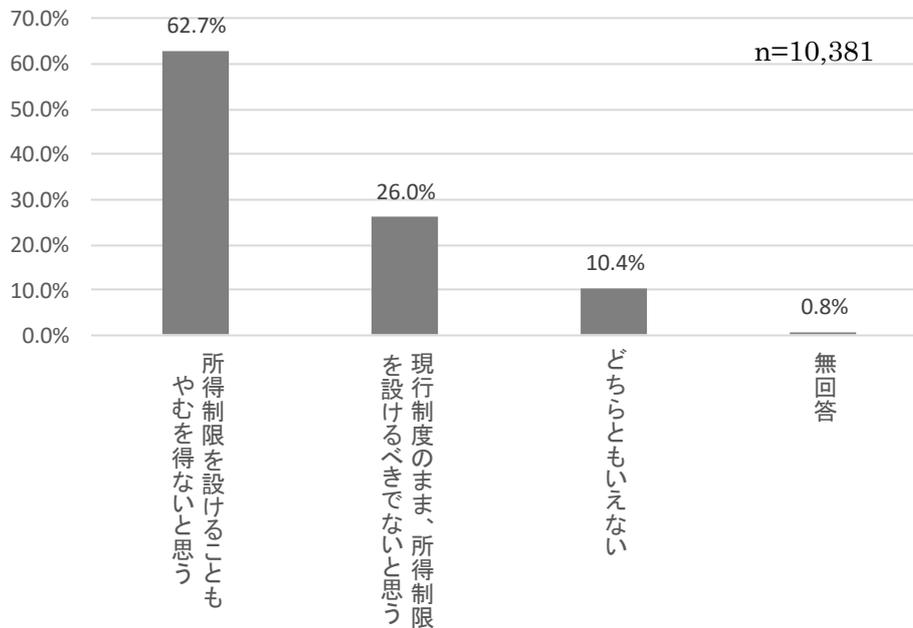
以下のとおりとなっています。



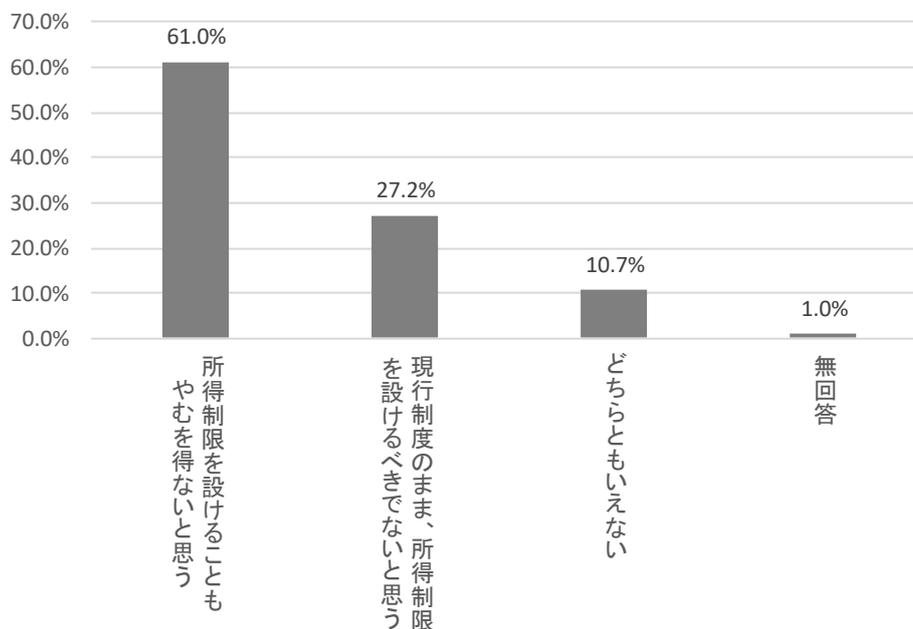
問 2 1 現在の利用者のうち、約 64%が非課税者であり、約 36%が課税者となっています。敬老パスの対象者に所得制限を設ける（一定以上の所得がある人は制度の対象外とする）ことについてどのように考えますか。（いずれか一つに○）

[ウエイトバック集計結果]

「所得制限を設けることもやむを得ないと思う」が 62.7%と最も多く、次いで「現行制度のまま、所得制限を設けるべきでないと思う」が 26.0%、「どちらともいえない」が 10.4%となっています。

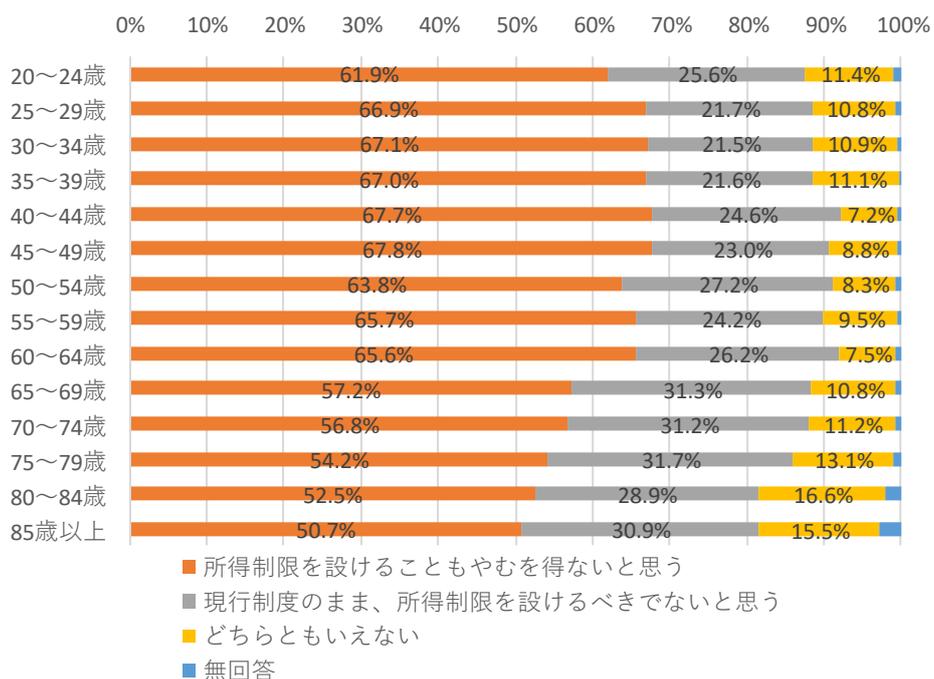


[(参考) ウエイトバック集計前の単純集計結果]



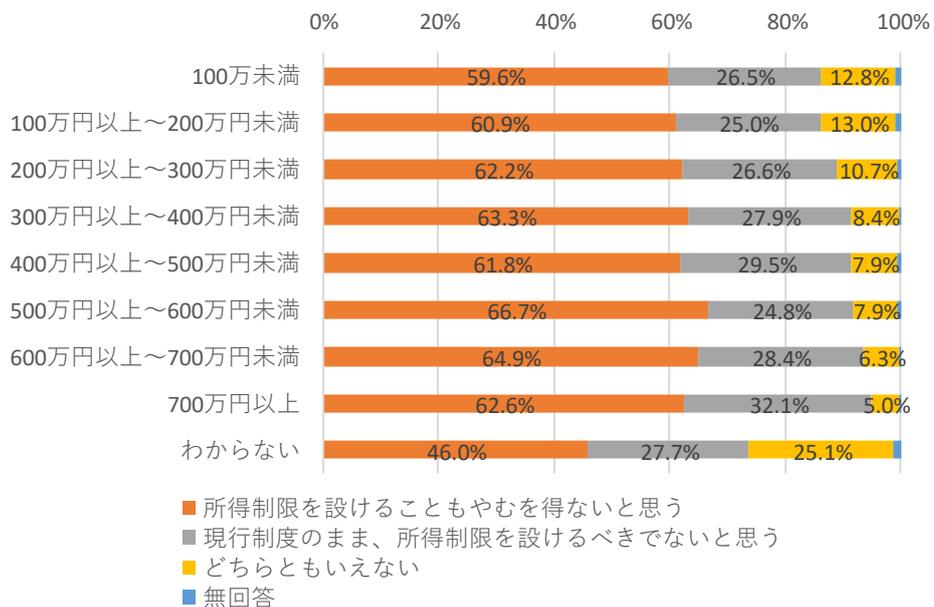
[年代別集計結果]

以下のとおりとなっています。



[回答者の年収（問5）別集計結果]

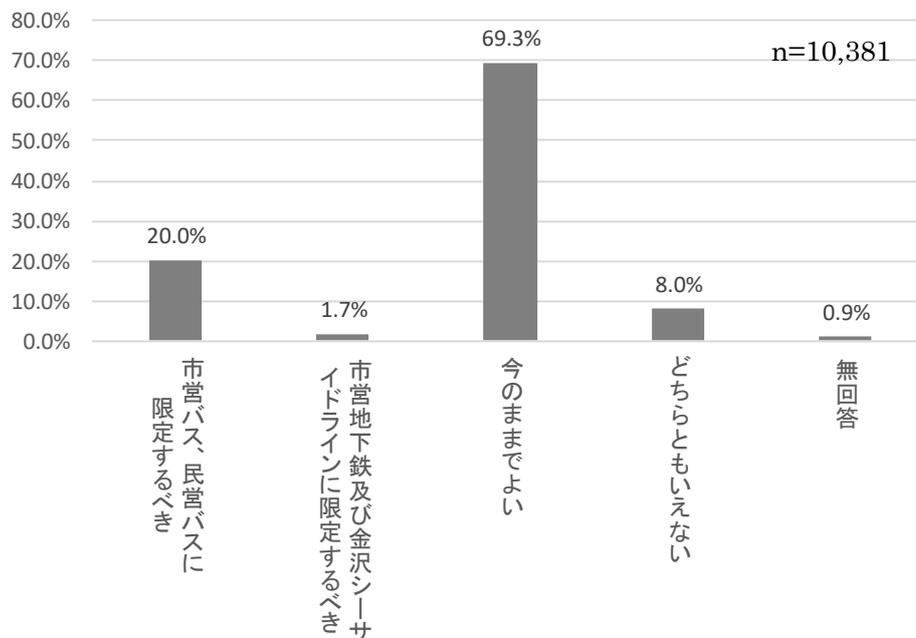
以下のとおりとなっています。



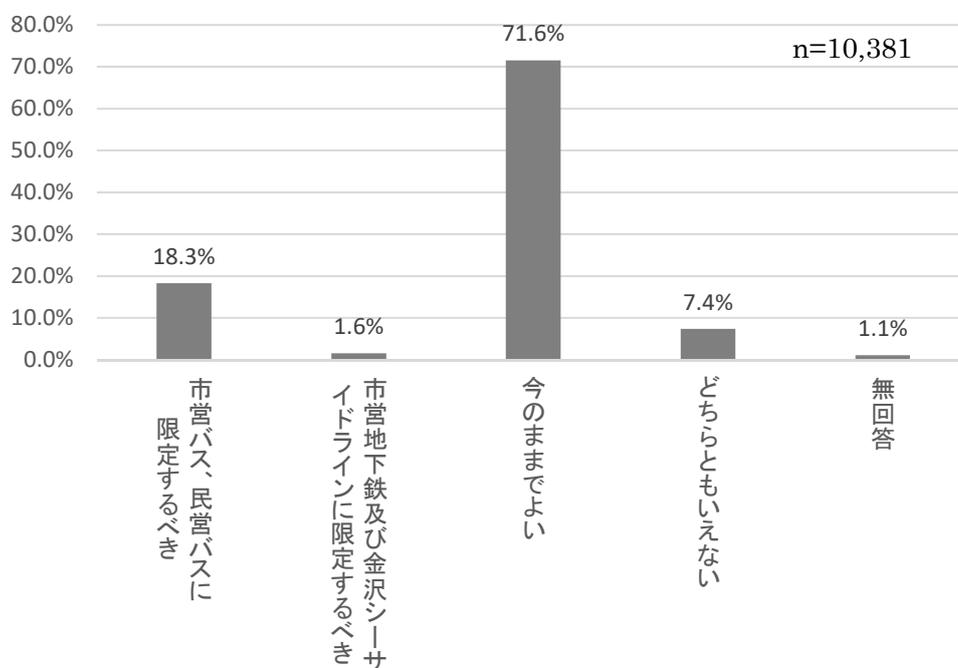
問22 現在の対象交通機関は、市営バス、民営バス（市内区間）、市営地下鉄、金沢シーサイドラインとなっています。敬老パスの対象となる交通機関についてどのように考えますか。（いずれか一つに○）

[ウエイトバック集計結果]

「今のままでよい」が69.3%と最も多く、次いで「市営バス、民営バスに限定するべき」が20.0%、「どちらともいえない」が8.0%となっています。



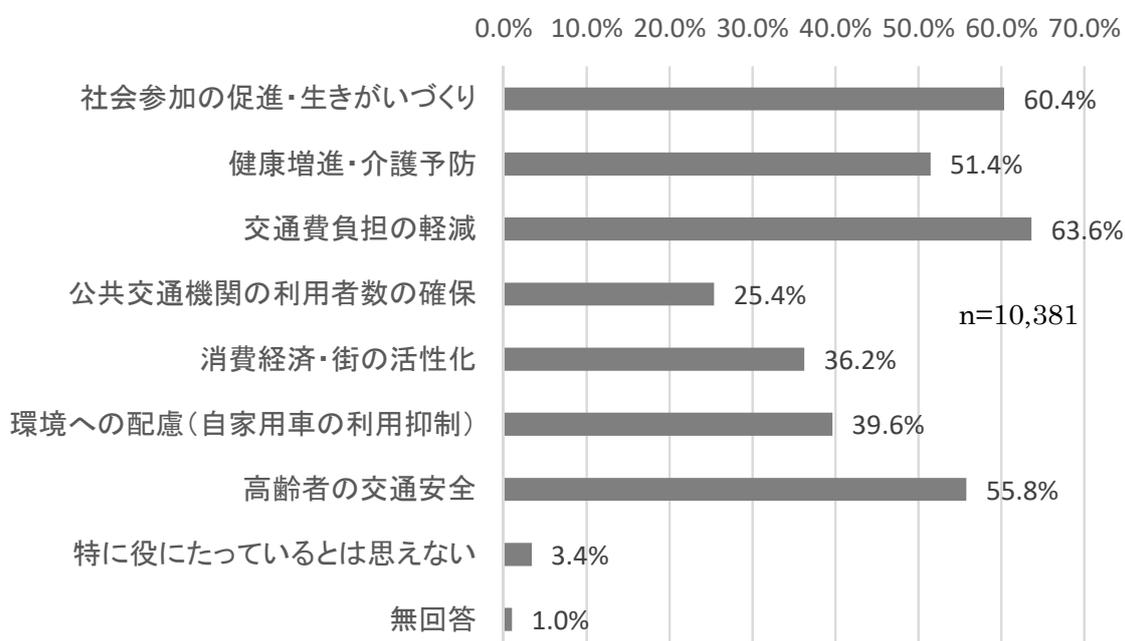
[(参考) ウエイトバック集計前の単純集計結果]



問 2 3 敬老パスはどのようなことに役立っていると思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

「交通費負担の軽減」が63.6%と最も多く、次いで「社会参加の促進・生きがいづくり」が60.4%、「高齢者の交通安全」が55.8%となっています。



【参考】ウエイトバック集計について

(1) ウエイトバック集計とは

回収されたサンプル（標本）を母集団の構成に合わせて集計する方法のことで、母集団と回収サンプルの構成比が異なる場合に、属性の抽出率や回収率の違いを補正し母集団構成比を復元する場合などに使用します。

今回、年齢層ごとに回答率に差があるため、問 17~22 についてはウエイトバック集計を行っています。

(2) 今回の集計の実施方法

- ① 対象となる問の年齢階層別集計結果を用います。市の年齢階層別人口（5歳階級、令和元年9月末日現在）に年齢階層別各選択肢の選択割合を乗じた値（人ベース）を算出します。
- ② ①で算出した値（人ベース）について、年齢階層別毎の数値を選択肢別に合算します。
- ③ 市の20歳以上年齢階層別人口（5歳階級、令和元年9月末日現在）に対する、②で算出した合算値の割合を算出します。これにより導き出された割合が、ウエイトバック集計後の割合となります。